

**豊橋田原ブロック
循環型社会形成推進地域計画
〔第1期計画〕**

	平成26年12月18日
変更報告	平成27年12月18日
変更承認	平成28年12月16日
変更承認	平成29年12月15日
変更承認	平成30年11月19日
変更承認	令和元年12月6日
変更承認	令和2年11月27日

豊橋市、田原市

〔 豊橋田原ブロック 循環型社会形成推進地域計画 〕

目 次

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項.....	1
(1) 対象地域.....	1
(2) 計画期間.....	1
(3) 基本的な方向.....	1
(4) ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況.....	2
2. 循環型社会形成推進のための現状と目標.....	3
(1) 一般廃棄物等の処理の現状.....	3
(2) 生活排水の処理の現状.....	5
(3) 一般廃棄物等の処理の目標.....	6
(4) 生活排水の処理の目標.....	9
3. 施策の内容.....	12
(1) 発生抑制、再使用の推進.....	12
(2) 処理体制.....	15
(3) 処理施設等の整備.....	19
(4) 施設整備に関する計画支援事業.....	20
(5) その他の施策.....	21
4. 計画のフォローアップと事後評価.....	22
(1) 計画のフォローアップ.....	22
(2) 事後評価及び計画の見直し.....	22
・循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1	23
・循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2	25
・地域の循環型社会形成推進のための施策一覧.....	26
・参考資料様式 1 施設概要（マテリアルリサイクル施設系）.....	29
・参考資料様式 2 施設概要（エネルギー回収施設系）.....	32
・参考資料様式 6 施設概要（浄化槽系）.....	33
・参考資料様式 7 計画支援概要.....	35
・別添資料.....	37

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市名 豊橋市、田原市
面積 452.98 km²
人口 443,922 人（平成 26 年 4 月 1 日現在）

表 1 構成市の面積と人口

項目\市名	豊橋市	田原市	合計
面積(km ²)	261.86	191.12	452.98
人口(人)	378,905	65,017	443,922

[出典]豊橋市及び田原市ホームページ

(2) 計画期間

本計画は、平成 27 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの 7 年間を計画期間とする。なお、目標の達成状況や社会情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

● 地域の概要

豊橋田原地域は、愛知県の南東部に位置し、豊川流域及び渥美半島で構成される地域である。豊かな水と温暖な気候に恵まれて農業が盛んに行われており、露地野菜、果樹、園芸作物、稲作など多種多様な作物が栽培されている。

また、日本一の飼養羽数を誇る養鶏を始め、養豚、養鶏などの畜産も盛んで、全国トップクラスの農業産出額を誇る産地となっている。

豊橋市は「筆」「刺子きしこ」「帆前掛ほまきかけ」などの伝統工芸や、「焼ちくわ」「ゼリー」など食品関係の地場産業も盛んである。田原市は三河港臨海工業地帯田原地区に工業系事業所が集積されており、輸送用機械器具製造業が盛んである。

● 豊橋市のごみ及び生活排水処理について

豊橋市は、「530（ゴミゼロ）運動」発祥の地として、環境に配慮したまちづくりを推進してきた。さらにごみを熔融処理し、熔融スラグを有効利用することで最終処分場の負荷軽減を図ってきた。

生活系ごみのうち、可燃ごみは「豊橋市資源化センター」（焼却及びガス化熔融施設）において処理を行っている。

また、生ごみ・し尿及び浄化槽汚泥は「豊橋市バイオマス利活用センター（メタン発酵処理・ガス発電施設）」において平成 29 年 10 月からバイオマスとして有効利用する。バイオマスを除く可燃ごみは、豊橋田原ごみ処理施設を令和 9 年度稼働目標として整備し、処理を進めていく。

事業系ごみについては近年横ばい傾向にあるが、事業者に対する更なる指導徹底等により、引き続き発生抑制や再生利用を進めていく。

また、生活系ごみと同様に事業所等から出る生ごみについても、豊橋市バイオマス利活用センターにおいて平成 29 年 10 月からバイオマスとして有効利用を図る。

生活排水については、公共用水域への生活雑排水の流入を低減するため、下水道、農業集落排水及び合併処理浄化槽の整備を進めていく。

● 田原市のごみ及び生活排水処理について

田原市は、PFI 事業でごみの炭化処理を行っており、炭化物を有効利用して最終処分場の負荷軽減を図ってきた。

生活系ごみのうち、可燃ごみは「田原リサイクルセンター（炭生館）」（炭化施設）において処理を行っている。さらに今後は、生ごみをバイオマスとして活用できるか検討していく。バイオマスを除く可燃ごみは、豊橋市に整備予定である豊橋田原ごみ処理施設にて処理を進めていく。

事業系ごみについては近年減少傾向にあるが、事業者に対する更なる指導徹底等により、引き続き発生抑制や再生利用を進めていく。

生活排水については、公共用水域への生活雑排水の流入を低減するため、下水道、農業集落排水及び合併処理浄化槽の整備を進めていく。

(4) ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況

愛知県では、平成 21 年 3 月に「第 2 次愛知県ごみ焼却処理広域化計画（平成 20 年度～平成 29 年度）」を策定しており、この中で豊橋市及び田原市は「豊橋田原ブロック」に位置付けられ、豊橋市資源化センターと田原リサイクルセンターを統合することにより最終的に 1 施設への集約化を目指すことが示されている。

豊橋市及び田原市においては、平成 12 年 2 月からごみ処理広域化の検討を開始しており、平成 25 年度には豊橋田原ごみ処理広域化ブロック会議として「豊橋田原ごみ処理広域化計画」を策定し、これに基づいて施設整備（集約化）を進めていく。

「豊橋田原ごみ処理広域化計画」では、豊橋田原ごみ処理施設を令和 4 年度稼働目標として計画しているが、事業進捗状況を踏まえ、焼却処理施設の稼働目標年度を令和 9 年度、粗大ごみ処理施設の稼働目標年度を令和 13 年度に改めて事業推進を図っていく。

なお、平成 31 年 3 月 29 日付け通知「持続可能な適正処理の確保に向けたごみ処理の広域化及びごみ処理施設の集約化について（通知）」による広域化・集約化計画に基づく検討は今後行っていく。

2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

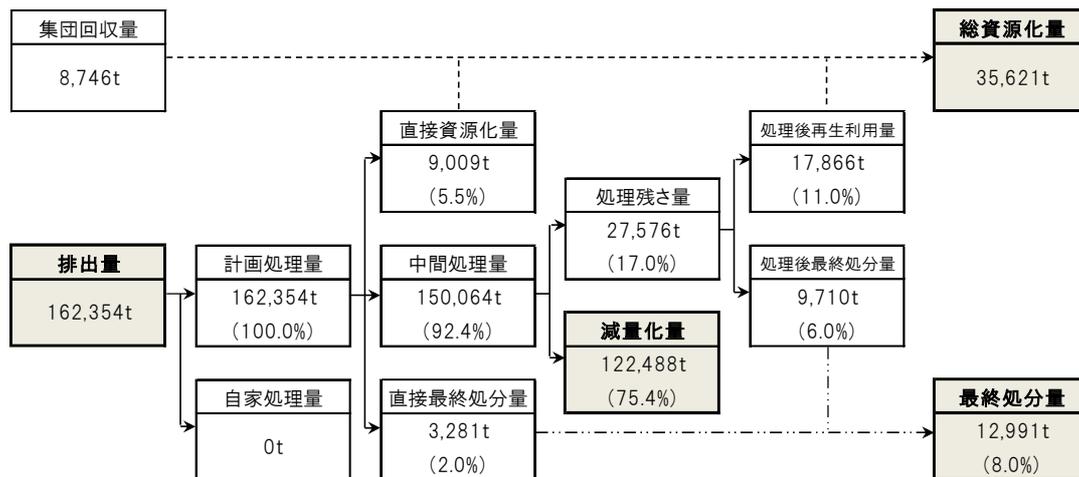
豊橋田原ブロック及び構成市の平成 25 年度の一般廃棄物の排出及び処理状況は、図 1～図 3 のとおりである。

豊橋田原ブロックのごみの総排出量は、集団回収量も含め、171,100 トンであり、再生利用される「総資源化量」は 35,621 トン、リサイクル率（＝（直接資源化量＋中間処理後の再生利用量＋集団回収量）／（ごみの総処理量＋集団回収量））は 20.8% である。

平成 25 年度における中間処理による減量化量は 122,488 トンであり、集団回収量を除いた排出量のおおむね 8 割が減量化されている。

また、集団回収量を除いた排出量の約 8%に当たる 12,991 トンが埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は 148,479 トンである。



※四捨五入の関係上、各処理量・処分量の排出量に対する割合は整合が取れない場合がある。

図 1 豊橋田原ブロックの現状の一般廃棄物の処理状況フロー（平成 25 年度）

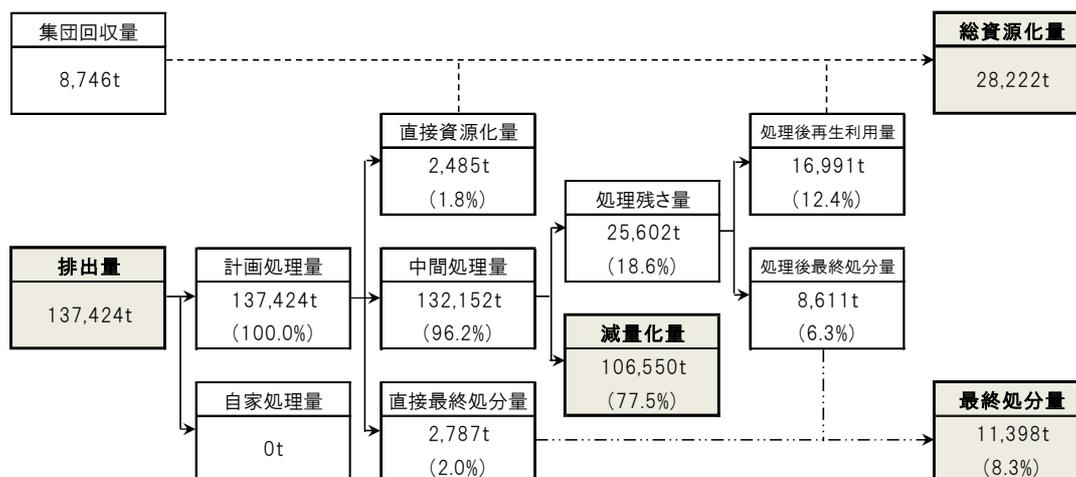
● 豊橋市の余熱利用状況

豊橋市資源化センターでは、廃熱をエネルギー回収し発電を行っている。発電された電気は施設内で使用し、余剰分は電力会社へ売電している。

また、発電以外にも、蒸気を近隣の温室や温水プールなどに送り、有効利用している。

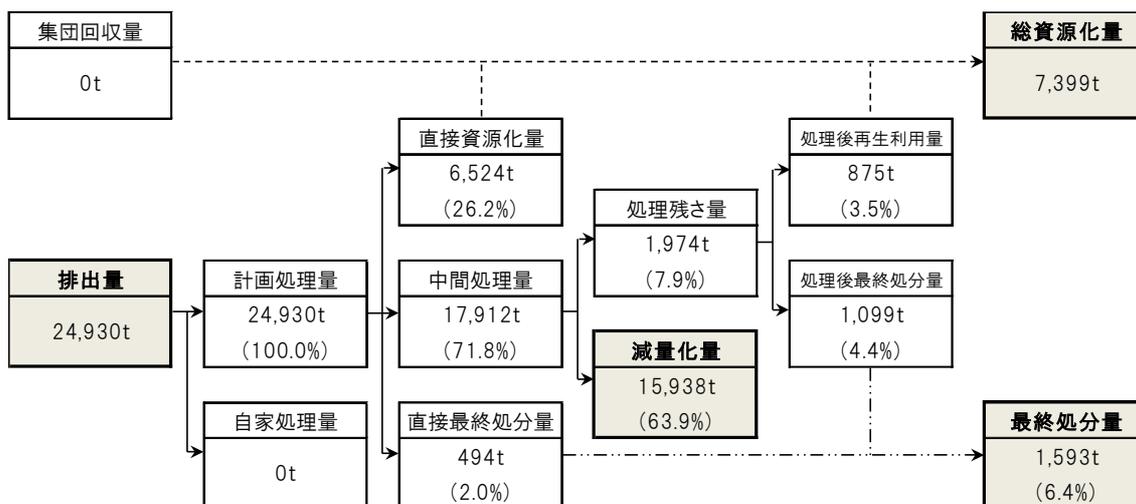
● 田原市の余熱利用状況

田原リサイクルセンター（炭生館）では、廃熱をエネルギー回収し、施設内で白煙防止熱源、炭化空気加温用熱源、場内暖房・給湯、炭化物乾燥用熱源として有効利用している。



※四捨五入の関係上、各処理量・処分量の排出量に対する割合は整合が取れない場合がある。

図2 豊橋市の現状の一般廃棄物の処理状況フロー（平成25年度）



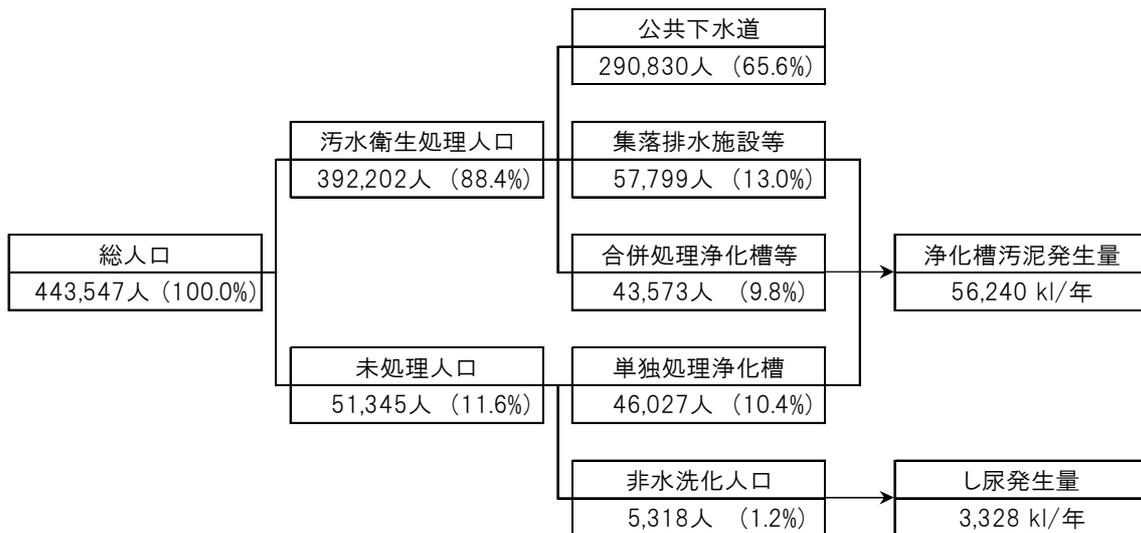
※四捨五入の関係上、各処理量・処分量の排出量に対する割合は整合が取れない場合がある。

図3 田原市の現状の一般廃棄物の処理状況フロー（平成25年度）

(2) 生活排水の処理の現状

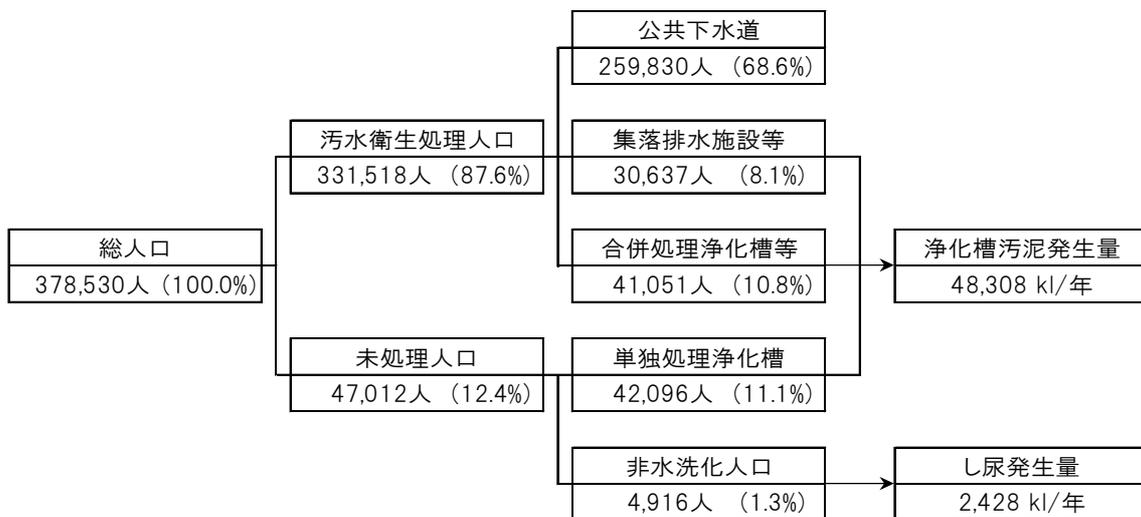
豊橋田原ブロック及び構成市の平成 25 年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は、図 4～図 6 のとおりである。

平成 25 年度における豊橋田原ブロックの生活排水処理対象人口は、全体で 443,547 人であり、汚水衛生処理人口（平成 25 年度現在、現に汚水処理施設に接続されている人口、以下同様。）は 392,202 人、汚水衛生処理率 88.4%である。し尿発生量は 3,328kℓ/年、浄化槽汚泥発生量は 56,240kℓ/年であり、処理・処分量（＝収集・運搬量）は 59,568kℓ/年である。



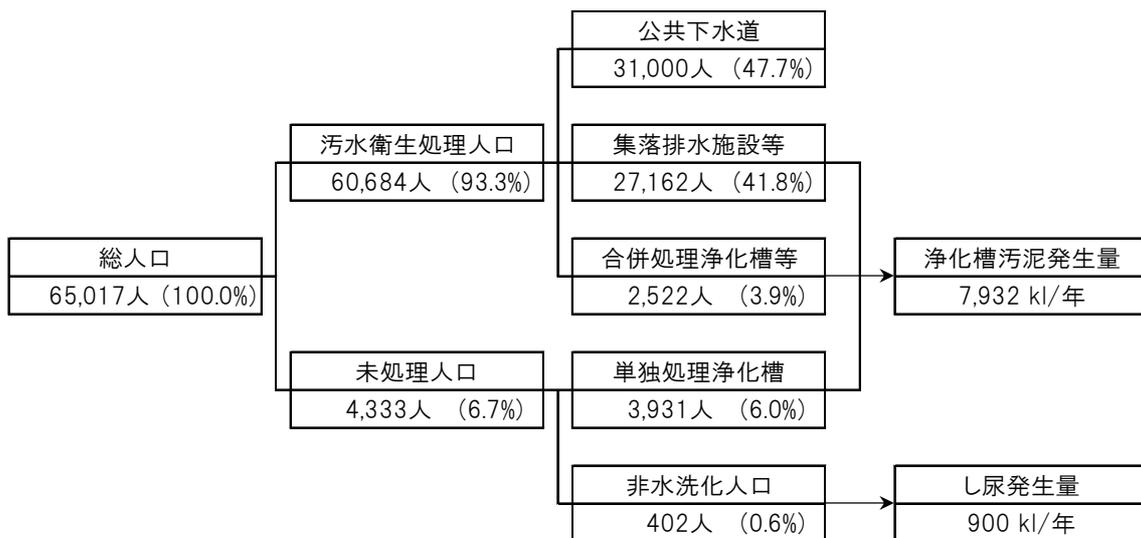
※四捨五入の関係上、総人口に対する割合は整合が取れない場合がある。

図 4 豊橋田原ブロックの現状の生活排水の処理状況フロー（平成 25 年度）



※四捨五入の関係上、総人口に対する割合は整合が取れない場合がある。

図 5 豊橋市の現状の生活排水の処理状況フロー（平成 25 年度）



※四捨五入の関係上、総人口に対する割合は整合が取れない場合がある。

図 6 田原市の現状の生活排水の処理状況フロー（平成 25 年度）

(3) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表 2～表 4 及び図 7～図 9 のとおり目標量を定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表 2 豊橋田原ブロックの減量化、再生利用に関する現状と目標

指標		現状(割合※ ¹) (平成25年度)	目標(割合※ ¹) (令和4年度)
排 出 量	事業系 総排出量	47,012 トン	45,273 トン (-3.7%)
	1事業所当たりの排出量※ ²	2.58 トン/事業所	2.49 トン/事業所 (-3.7%)
	生活系 総排出量	115,342 トン	102,854 トン (-10.8%)
	1人当たりの排出量※ ³	220.5 kg/人	175.1 kg/人 (-20.6%)
合 計	事業系生活系排出量合計	162,354 トン	148,127 トン (-8.8%)
再 生 利 用 量	直接資源化量	9,009 トン (5.5%)	19,008 トン (12.8%)
	総資源化量	35,621 トン (20.8%)	46,049 トン (29.5%)
エネルギー回収量	エネルギー回収量(年間の発電電力量及び熱利用量)	32,597 MWh 117,349 GJ	22,814 MWh 82,130 GJ
最 終 処 分 量	埋立最終処分量	12,991 トン (8.0%)	10,745 トン (7.3%)

※¹ 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合

※² (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} / (事業所数)

※³ (1人当たりの排出量) = {(生活系ごみの総排出量) - (生活系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

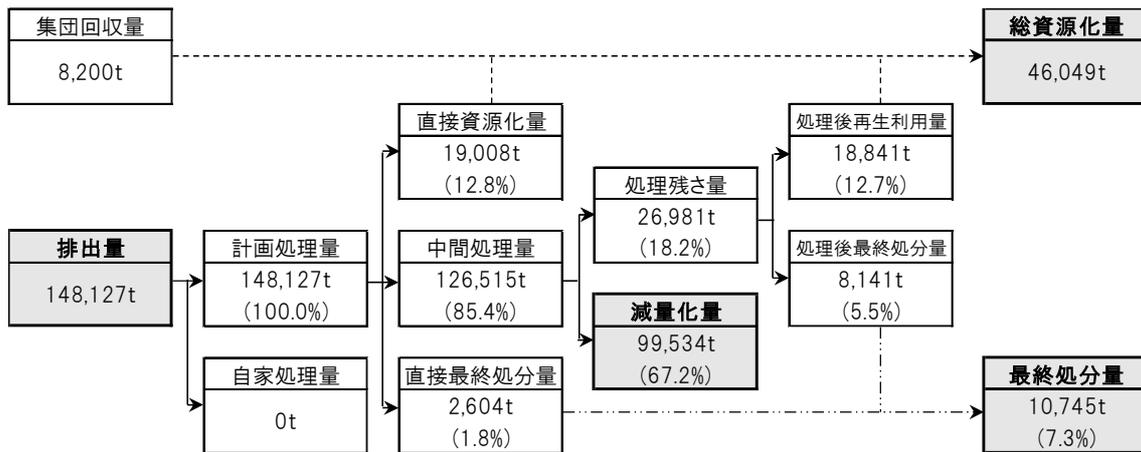
《用語の定義》

排 出 量: 事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く。)(単位:トン)

再 生 利 用 量: 集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和(単位:トン)

エネルギー回収量: エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量(単位:MWh)及び熱利用量(単位:GJ)

最 終 処 分 量: 埋立処分された量(単位:トン)

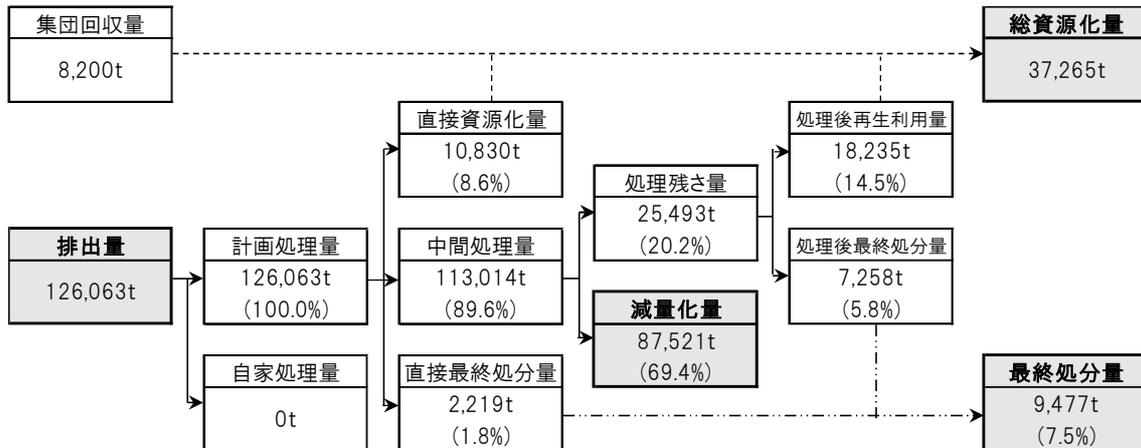


※四捨五入の関係上、各処理量・処分量の排出量に対する割合は整合が取れない場合がある。

図7 豊橋田原ブロックの目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（令和4年度）

表3 豊橋市の減量化、再生利用に関する現状と目標

指標		現状(割合※ ¹) (平成25年度)	目標(割合※ ¹) (令和4年度)
排出量	事業系 総排出量	40,200 トン	38,608 トン (-4.0%)
	1事業所当たりの排出量	2.68 トン/事業所	2.58 トン/事業所 (-3.8%)
	生活系 総排出量	97,224 トン	87,455 トン (-10.0%)
	1人当たりの排出量	223.2 kg/人	180.2 kg/人 (-19.3%)
合計	事業系生活系排出量合計	137,424 トン	126,063 トン (-8.3%)
再生利用量	直接資源化量	2,485 トン (1.8%)	10,830 トン (8.6%)
	総資源化量	28,222 トン (19.3%)	37,265 トン (27.8%)
エネルギー回収量	エネルギー回収量(年間の発電電力量及び熱利用量)	32,597 MWh 117,349 GJ	22,814 MWh 82,130 GJ
最終処分量	埋立最終処分量	11,398 トン (8.3%)	9,477 トン (7.5%)

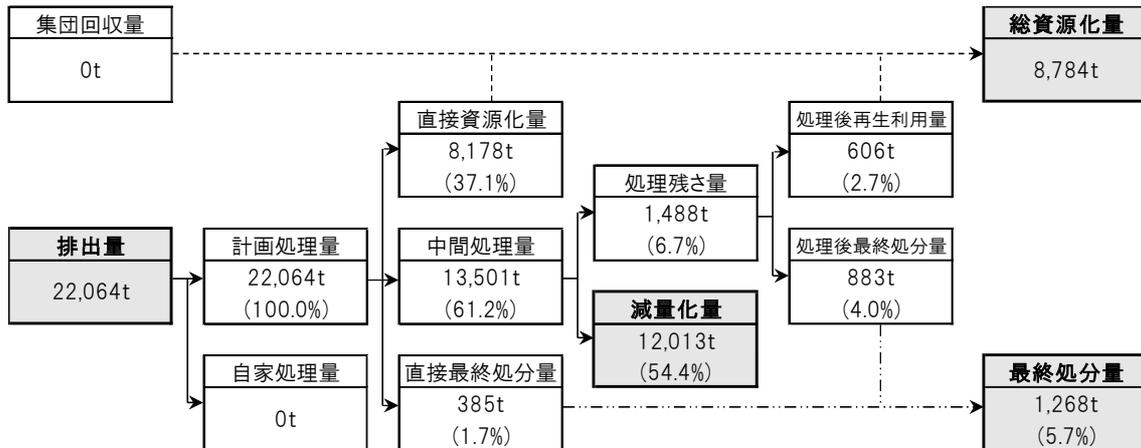


※四捨五入の関係上、各処理量・処分量の排出量に対する割合は整合が取れない場合がある。

図 8 豊橋市の目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（令和 4 年度）

表 4 田原市の減量化、再生利用に関する現状と目標

指標		現状(割合※ ¹) (平成25年度)	目標(割合※ ¹) (令和4年度)
排 出 量	事業系 総排出量	6,812 トン	6,665 トン (-2.2%)
	1事業所当たりの排出量	2.01 トン/事業所	1.92 トン/事業所 (-4.3%)
	生活系 総排出量	18,118 トン	15,399 トン (-15.0%)
	1人当たりの排出量	204.7 kg/人	145.4 kg/人 (-29.0%)
合 計	事業系生活系排出量合計	24,930 トン	22,064 トン (-11.5%)
再 生 利 用 量	直接資源化量	6,524 トン (26.2%)	8,178 トン (37.1%)
	総資源化量	7,399 トン (29.7%)	8,784 トン (39.8%)
エネルギー回収量	エネルギー回収量(年間の発電電力量及び熱利用量)	0 MWh 0 GJ	0 MWh 0 GJ
最 終 処 分 量	埋立最終処分量	1,593 トン (6.4%)	1,268 トン (5.7%)



※四捨五入の関係上、各処理量・処分量の排出量に対する割合は整合が取れない場合がある。

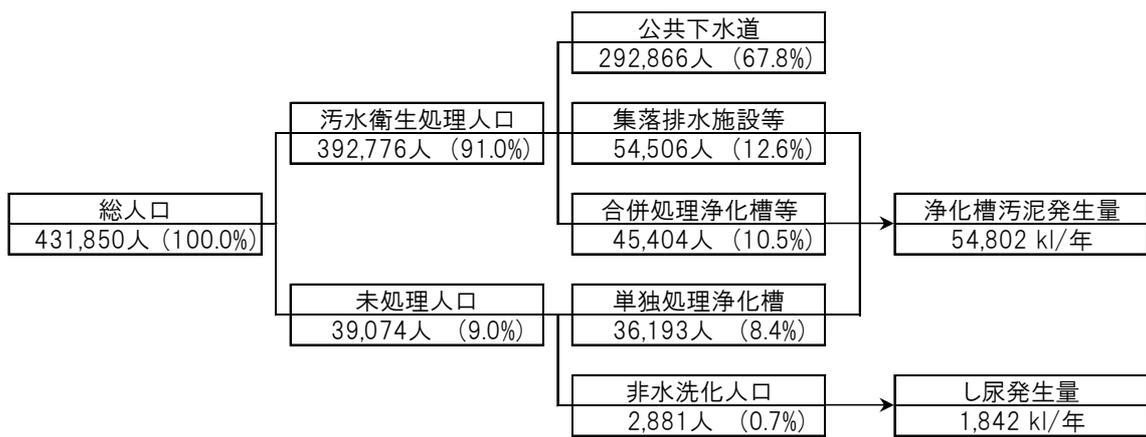
図9 田原市の目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（令和4年度）

(4) 生活排水の処理の目標

本計画の計画期間中において、生活排水処理については、表5～表7及び図10～図12のとおり目標を定め、合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。

表5 豊橋田原ブロックの生活排水処理に関する現状と目標

		平成25年度実績	令和4年度目標
処理形態 別人口	公共下水道	290,830人 (65.6%)	292,866人 (67.8%)
	農業集落排水施設等	57,799人 (13.0%)	54,506人 (12.6%)
	合併処理浄化槽等	43,573人 (9.8%)	45,404人 (10.5%)
	未処理人口	51,345人 (11.6%)	39,074人 (9.0%)
	合計	443,547人	431,850人
し尿・汚泥 の量	汲み取りし尿量	3,328 kℓ	1,842 kℓ
	浄化槽汚泥量	56,240 kℓ	54,802 kℓ
	合計	59,568 kℓ	56,644 kℓ

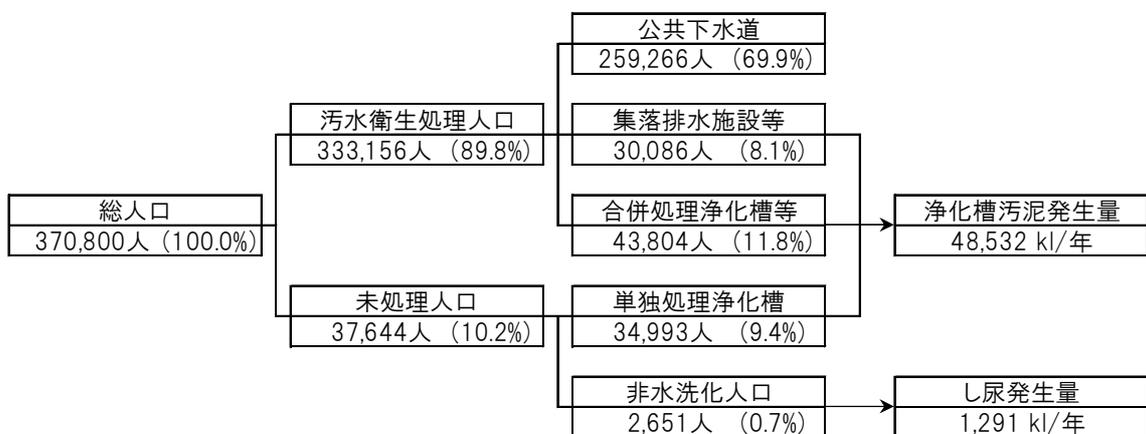


※四捨五入の関係上、総人口に対する割合は整合が取れない場合がある。
 ※目標は、令和4年度当初の数値とする。

図10 豊橋田原ブロックの目標達成時の生活排水の処理状況フロー（令和4年度）

表6 豊橋市の生活排水処理に関する現状と目標

		平成25年度実績	令和4年度目標
処理形態別人口	公共下水道	259,830人 (68.6%)	259,266人 (69.9%)
	農業集落排水施設等	30,637人 (8.1%)	30,086人 (8.1%)
	合併処理浄化槽等	41,051人 (10.8%)	43,804人 (11.8%)
	未処理人口	47,012人 (12.4%)	37,644人 (10.2%)
	合計	378,530人	370,800人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	2,428 kℓ	1,291 kℓ
	浄化槽汚泥量	48,308 kℓ	48,532 kℓ
	合計	50,736 kℓ	49,823 kℓ

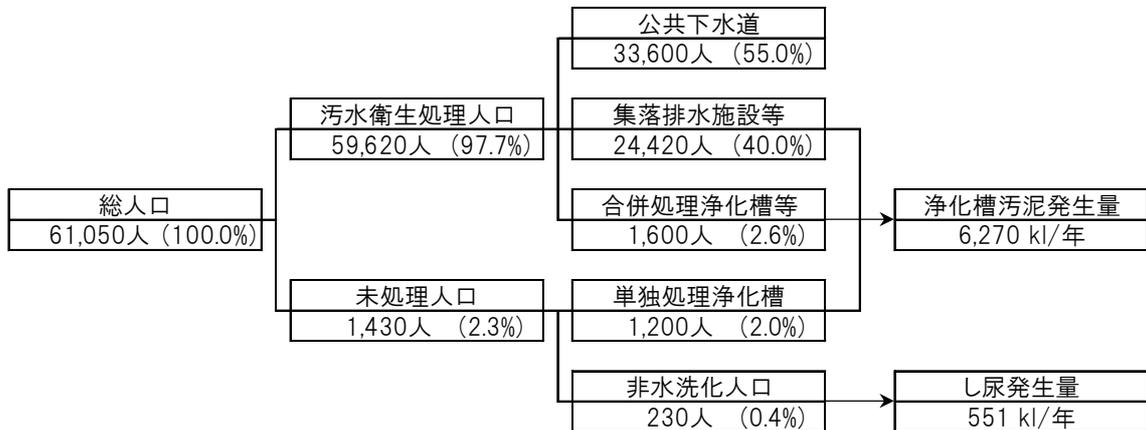


※四捨五入の関係上、総人口に対する割合は整合が取れない場合がある。
 ※目標は、令和4年度当初の数値とする。

図11 豊橋市の目標達成時の生活排水の処理状況フロー（令和4年度）

表 7 田原市の生活排水処理に関する現状と目標

		平成25年度実績	令和4年度目標
処理形態 別人口	公共下水道	31,000 人 (47.7%)	33,600 人 (55.0%)
	農業集落排水施設等	27,162 人 (41.8%)	24,420 人 (40.0%)
	合併処理浄化槽等	2,522 人 (3.9%)	1,600 人 (2.6%)
	未処理人口	4,333 人 (6.7%)	1,430 人 (2.3%)
	合計	65,017 人	61,050 人
し尿・汚泥 の量	汲み取りし尿量	900 kℓ	551 kℓ
	浄化槽汚泥量	7,932 kℓ	6,270 kℓ
	合計	8,832 kℓ	6,821 kℓ



※四捨五入の関係上、総人口に対する割合は整合が取れない場合がある。
 ※目標は、令和4年度当初の数値とする。

図 12 田原市の目標達成時の生活排水の処理状況フロー（令和4年度）

3. 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

ア 有料化

① 粗大ごみ

● 豊橋市

「大きなごみ」(粗大ごみ)についてステーション収集は行っておらず、直接持込または申込み制の戸別有料収集を行い、排出抑制を推進している。

今後もこの体制を継続していく。

● 田原市

「粗大ごみ」の有料化及び収集は行っておらず、直接持込みにより受け入れている。今後、他自治体事例等を参考に負担の公平性や有料化方式などの検証を行い、ごみの有料化を検討していく。

② 生活系ごみ(①を除く)

● 豊橋市

①に示す粗大ごみを除き、生活系ごみの有料化は行っていないが、平成28年4月より、ごみ分別マナーの徹底等を目的に、もやすごみ及びこわすごみを対象に指定ごみ袋制度を導入した。

今後、様々なごみ減量施策を講じる中で有料化についても検討していく。

● 田原市

生活系ごみの有料化は行っていないが、他自治体事例等を参考に費用負担の公平性や有料化方式などの検証を行なった結果、平成30年2月より生活系ごみの有料化を導入する。

また、手数料については今後のごみ減量化・資源化の目標達成状況により、随時見直しを検討していく。

③ 事業系ごみ

● 豊橋市

事業系ごみに対して、市処理施設搬入時に処理手数料の徴収を行い、経済的インセンティブを活用した排出抑制を推進している。

今後、引き続きごみ処理原価に基づく適正な手数料額の設定に努め、必要に応じて見直しを検討していく。

● 田原市

事業系ごみに対して処理手数料の徴収を行い、経済的インセンティブを活用した排出抑制を推進している。

今後も必要に応じて見直しを検討していく。

イ 環境教育、普及啓発、助成

● 豊橋市

表 8 に示す環境教育、普及啓発、助成を行っている。

また、平成 29 年 6 月からは普及啓発として収集日の確認やごみ分別検索、古紙等排出場所地図表示等の機能を持った、スマートフォン・タブレット向けのアプリ「さんあ〜る」を配信していく。

今後も必要に応じて見直しを検討していく。

● 田原市

表 8 に示す環境教育、普及啓発、助成を行っている。

また、平成 29 年 6 月からは普及啓発として収集日の確認やごみ分別検索、古紙等排出場所地図表示等の機能を持った、スマートフォン・タブレット向けのアプリ「さんあ〜る」を配信していく。

今後もこれらの取り組みを継続していく。

表 8 環境教育、普及啓発、助成の現状

区分	施策の概要	
	豊橋市	田原市
環境教育	<p>① 小学生への環境教育 小学 4 年生全児童に社会科資料集「町をきれいに」を配付している。</p> <p>② 生ごみの減量について 平成 14 年度より、生ごみ減量容器・電動式生ごみ処理機の上手な使い方、堆肥を利用した家庭でできる花づくり等を紹介する講習会を開催している。 平成 24 年度より、手作りコンポストの作製・利用の講習会を開催している。</p> <p>③ 出前講座の実施 町自治会や事業所、団体等を対象にごみの分け方や出し方、市のごみ処理の現状を伝え、ごみ減量やリサイクル、地域清掃活動の啓発を行っている。</p> <p>④ 幼児環境教育の実施 幼稚園や保育園の園児を対象に、演劇やビデオによりごみ分別や530運動の大切さを啓発している。</p>	<p>将来を担う子どもたちがごみに関心をもち、その大切さを正しく理解するよう、学校・地域・家庭において環境学習の機会の拡大など市民が積極的に環境学習に取り組めるよう、次の取り組みを行っている。</p> <p>① 3Rに関する各種教室の開催 ② ごみ処理施設の見学 ③ 自治会・事業所・学校等を通じた学習</p>
普及啓発	<p>① ガイドブックの配付 ごみの分別や持ち出しマナー、ルールなどを記載した「ごみガイドブック」を全世帯に配付。外国人定住者用に 4 ヶ国語の「ごみガイドブック」を作成し、配付している。</p> <p>② 収集日程表の配付・配信 年間収集日を記載した「クリーンカレンダー」を全世帯に配付するとともに、収集日をメールで知らせる「ごみ収集日お知らせメールサービス」を行っている。</p> <p>③ 集団回収に関する啓発 地域資源回収を今後も継続し、より多くの市民が活動に参加できるよう「地域資源回収の手引き」を作成している。</p>	<p>広報・啓発・指導體制整備に努めるとともに、多くの機会を通じて情報の提供と共有、意見交換などを実施している。 なお、転入者・単身赴任者・通勤及び通学等で来る人は田原市のごみ排出区分等への理解が少ないため、次の取り組みを行っている。</p> <p>① ごみの分け方・出し方のパンフレット、ごみ収集カレンダーの作成・配付 ② ごみ減量等推進員による現場指導 ③ 自治会・事業所・学校等を通じた啓発</p>

助成	<p>① 生ごみ処理機購入補助金制度 「生ごみ減量容器(コンポスト)」及び「電動式生ごみ処理機(バイオ式、乾燥式)」について、購入費の1/2(上限あり)の助成を行っている。 (電動式生ごみ処理機(乾燥式)の無料貸出制度も実施。)</p> <p>② 地域資源回収団体奨励金制度 資源回収の活性化及び再資源化を推進するため、資源ごみのうち「古紙・布類・缶」を回収した団体に対して奨励金を交付している。</p>	<p>① 生ごみ処理容器等設置事業補助金制度 「生ごみ処理容器」及び「電気生ごみ処理機」について、購入費の1/2(上限あり)の助成を行っている。 (電動式生ごみ処理機(乾燥式)の無料貸出制度も実施。)</p>
----	--	---

ウ マイバッグ運動・レジ袋対策

● 豊橋市

市内の販売店や530運動環境協議会と協力して、平成25年度からのレジ袋の有料化やマイバッグの普及に取り組んだことにより、レジ袋約2,500万枚の削減につながった。

今後もこの体制を継続していく。

● 田原市

「田原市レジ袋削減推進協議会」を発足し、「レジ袋削減に関する協定」を締結した店舗を対象に、平成21年度からレジ袋の有料化を行ったことにより、レジ袋約285万枚の削減につながった。今後もこの体制を継続していく。

エ ごみ分別の推進

● 豊橋市

平成28年4月より、ごみ分別マナーの徹底を目的に、もやすごみ及びこわすごみを対象に指定ごみ袋を導入する。また、平成29年4月より、バイオガス発電による生ごみの有効利用を目的に、生ごみともやすごみを分別し資源の一つとして収集する、生ごみ分別収集を導入する。これらの取り組みにより、家庭系ごみ排出量の約3割削減(平成25年度比)につながった。

今後もこれらの取り組みを継続していく。

● 田原市

平成30年2月に生活系ごみの有料化を行うことで、市民のごみに対するコスト意識向上を図り、生活系ごみに含まれる資源化可能な紙類、プラスチック容器類の分別など、ごみ減量化・資源化を促進させる。その結果、一人当たりの家庭系ごみ量を平成22年度512g/日から令和2年度430g/日まで削減する。

オ 生活排水対策

● 豊橋市

「梅田川ふれあいクリーン作戦」の開催、「豊橋市クリーン推進員活動」の推進、「530のまち環境フェスタ」など環境関連イベントにおける啓発活動などを行い、生活排水対策の普及啓発に取り組んでいる。

また、保守点検、清掃及び法定検査など浄化槽を正しく維持管理するために「浄化槽管理手帳」の配布及び文書の郵送による啓発を実施している。

今後もこの体制を継続していく。

● 田原市

河川水質調査の結果をホームページ等で公表し、水質浄化の意識向上に取り組んでいる。

また、たはらエコフェスタ等の環境関連イベントにおいてポスター展示やパンフレット配付を通して生活排水対策の普及啓発を行っている。

今後もこの体制を継続していく。

(2) 処理体制

ア 生活系ごみの処理体制の現状と今後

各市の分別区分と処理方法は、表 9 のとおりである。

● 豊橋市

現在、生活系ごみのうち可燃ごみは、豊橋市資源化センター（焼却及びガス化溶融施設）において溶融処理を行い、溶融スラグを有効利用することで最終処分量の削減に取り組んでいる。

このほか、資源ごみとして、プラスチック、びん・カン、ペットボトル、古紙、布類、小型家電（平成 25 年度から分別開始）を分別収集・集団回収・拠点回収により収集し資源化しており、今後も循環型社会の形成を図っていく。

さらに、平成 29 年度からは、生ごみをバイオマスとして活用するため、可燃ごみの一部として収集していた生ごみを、新たに「生ごみ」の分別区分を設け、分別収集していく。分別収集した生ごみは、平成 29 年 10 月に稼働した豊橋市バイオマス利活用センターにてメタン発酵処理をし、発生したバイオガスによりガス発電を行っていく。

また、分別収集体制の見直しを行うなかで、びん・カンについては、収集拠点として市内約 2,200 箇所専用ビンカン回収用ボックスを設置して収集を行っているが、老朽化や抜き取り被害などの諸問題が生じていることから、平成 29 年度からは、ごみステーションでの収集に切り替えを行う。

バイオマスを除く可燃ごみは、令和 9 年度を稼働目標に豊橋田原ごみ処理施設を整備し、処理を進めていく。

● 田原市

現在、生活系ごみのうち可燃ごみは、田原リサイクルセンター（炭生館）（炭化施設）において処理を行い、炭化物として有効利用することで最終処分量の削減に取り組んでいる。

このほか、資源ごみは、平成 30 年 2 月から分別区分を変更し、紙類、布類、空缶、小物金属、電化製品類、発泡スチロール、有害ごみ、ガラスびん、ペットボトル、プラスチック容器類、白色トレイを分別収集により収集し資源化しており、今後も循環型社会の形成を図っていく。

このほか、資源ごみとして、紙類、布類、空缶、小物金属、電化製品類、発泡スチ

ロール、有害ごみ、ガラスびん、ペットボトル、プラスチック容器類、白色トレイを分別収集により収集し資源化しており、今後も循環型社会の形成を図っていく。

また、平成 23 年 7 月からは廃食用油の拠点回収及び平成 26 年 12 月から個人情報保護対策に配慮が必要な使用済み小型家電のボックス回収を行っている。

なお、資源ごみ処理施設は、平成の大合併前に整備してきた施設で、市内 3 施設で分散処理しており非効率な運営となっているため、施設の統合を検討する。

さらに今後、生ごみはバイオマスとして利活用できるか検討していく。

バイオマスを除く可燃ごみは、令和 9 年度を稼働目標に豊橋田原ごみ処理施設を整備し、処理を進めていく。

イ 事業系ごみの処理体制の現状と今後

● 豊橋市

一定規模以上の事業所に対して減量計画書の提出を要請し、必要な指導・助言を行っている。

また、事業系ごみ減量の必要性や紙ごみのリサイクルについて「ごみ減量行動マニュアル」を作成し、事業所でのごみ減量への取り組みを促進している。

今後もこの体制を継続するほか、事業系ごみの搬入検査を強化し、再生利用できる古紙などの搬入制限について検討していく。

また平成 29 年 10 月からは、家庭から出る生ごみ同様に、事業系生ごみをバイオマスとして有効利用を図っていく。

● 田原市

現在、事業系ごみ（一般廃棄物）のうち可燃ごみは田原リサイクルセンター（炭生館）で処理を行い、紙類等の資源ごみは各資源化センターに搬入され資源化している。

また、事業者は自らの事業活動に伴い発生する事業系ごみの発生抑制、資源の循環的な利用をする取り組みを促進している。

今後もこの体制を継続するほか、抜き取り検査等により分別の徹底を図っていく。

ウ 一般廃棄物処理施設であわせて処理する産業廃棄物の現状と今後

● 豊橋市

市内の事業所から発生する産業廃棄物のうち「紙くず」、「木くず」、「繊維くず」、及び「動植物性残さ」に限って、豊橋市資源化センターにて受け入れている。

なお、中核市移行に伴って産業廃棄物行政が県から委譲されたため、産業廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する業務を行っている。

今後もこの体制を継続するほか、施設負担軽減の観点から産業廃棄物の受け入れについて見直しを検討していく。

● 田原市

市内の事業所から発生する産業廃棄物は受け入れていない。

エ 生活排水処理の現状と今後

● 豊橋市

公共用水域への生活雑排水の流入を低減するため、下水道の整備及び早期接続を推進するとともに、下水道、農業集落排水の処理区域に含まれない地域においては合併処理浄化槽等への転換を推進している。

また、下水道終末処理場のひとつである中島処理場では、余剰汚泥を堆肥化し、「のんほいユーキ」として緑農地還元している。

し尿及び浄化槽汚泥は、豊橋市資源化センターし尿処理施設にて処理を行っている。

また、平成 29 年 10 月からは豊橋市バイオマス利活用センターにおいて、下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみをあわせてバイオマスとして有効利用を行っている。発酵後汚泥は炭化し、炭化燃料として有効利用を図っていく。

● 田原市

公共用水域への生活雑排水の流入を低減するため、下水道、農業集落排水の整備及び早期接続を推進するとともに、下水道、農業集落排水の処理区域に含まれない地域においては合併処理浄化槽等への転換を推進している。

し尿及び浄化槽汚泥は、田原市衛生センターにて処理を行っている。

オ 今後の処理体制の要点

- ・豊橋田原ごみ処理施設（焼却処理施設、粗大ごみ処理施設）の整備を行う
- ・豊橋市は分別収集体制の見直しを行うなかで、ビンカンストックヤードの整備を行う
- ・田原市は市内 3 か所に分散されている資源ごみ処理施設を統合する
- ・豊橋市、田原市とも、下水道処理区域外においては、合併処理浄化槽への転換を推進する

表9 豊橋田原ブロック各市の生活系ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現状(平成25年度)					今後(令和4年度)							
市名	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(ト)	市名	分別区分	処理方法	処理施設等		処理目標(ト)		
								一次処理	二次処理			
豊橋市	もやすごみ	焼却・溶融	豊橋市資源化センター(焼却処理施設)	70,022	豊橋市	もやすごみ	焼却・溶融	発電	豊橋市資源化センター(焼却処理施設)	残渣物のリサイクル	35,644	
	プラスチック(資源)	リサイクル	豊橋市プラスチックリサイクルセンター	3,834		生ごみ	リサイクル	メタンガス化	豊橋市バイオマス利活用センター	残渣物のリサイクル	17,678	
	こわすごみ	リサイクル	豊橋市西部環境センター	3,188		プラマークごみ	リサイクル	選別・圧縮	豊橋市プラスチックリサイクルセンター	資源化(委託)	3,144	
	大きなごみ	リサイクル	豊橋市資源化センター(再利用施設)	268		こわすごみ	リサイクル	選別	豊橋市西部環境センター	資源化(委託)	2,695	
	うめるごみ	埋立	豊橋市廃棄物最終処分場	11,398		大きなごみ	リサイクル	破碎・選別	豊橋市資源化センター(再利用施設)	資源化(委託)	218	
	資源	びん・カン	リサイクル	豊橋市資源リサイクルセンター		5,228	うめるごみ	埋立	—	豊橋市廃棄物最終処分場	—	9,477
		ペットボトル	リサイクル	豊橋市資源リサイクルセンター		550	びん・カン	リサイクル	選別	豊橋市資源リサイクルセンター	資源化(委託)	5,349
		古紙	リサイクル	環境センター(リサイクルステーション)		1,294	ペットボトル	リサイクル	選別	豊橋市資源リサイクルセンター	資源化(委託)	681
		布類	リサイクル	豊橋市資源化センター(積込ヤード)		1,263	古紙	リサイクル	保管	環境センター(リサイクルステーション)	資源化(委託)	9,350
		危険ごみ	リサイクル	豊橋市資源化センター(再利用施設)		179	布類	リサイクル	保管	豊橋市資源化センター(積込ヤード)	資源化(委託)	1,506
							危険ごみ	リサイクル	保管	豊橋市資源化センター(再利用施設)	資源化(委託)	231
					持込剪定枝	リサイクル	チップ化	豊橋市資源化センター(剪定枝リサイクル施設)	資源化(売却)	1,482		
田原市	もやせるごみ	炭化	田原リサイクルセンター	7,533	田原市	もやせるごみ	炭化	—	田原リサイクルセンター	残渣物のリサイクル	4,685	
	もやせないごみ	炭化リサイクル埋立	田原リサイクルセンターまたは資源化センター等	1,593		こわすごみ	炭化リサイクル埋立	選別	田原リサイクルセンターまたは資源化センター等	資源化(委託)	1,268	
	粗大ごみ	炭化リサイクル埋立	または最終処分場			粗大ごみ	炭化リサイクル埋立	破碎・選別	または最終処分場	資源化(委託)		
	紙類	リサイクル	田原市東部資源化センターまたは田原市赤羽根環境センターまたは田原市瀬美資源化センター	7,399		紙類	リサイクル	保管	田原市東部資源化センターまたは田原市赤羽根環境センターまたは田原市瀬美資源化センター	資源化(委託)	8,178	
	布類	リサイクル				布類	リサイクル	保管		資源化(委託)		
	空缶	リサイクル				空缶	リサイクル	保管		資源化(委託)		
	小物金属	リサイクル				小物金属	リサイクル	保管		資源化(委託)		
	電化製品類	リサイクル				電化製品類	リサイクル	保管		資源化(委託)		
	発泡スチロール	リサイクル				発泡スチロール	リサイクル	保管		資源化(委託)		
	有害ごみ	リサイクル				有害ごみ	リサイクル	保管		資源化(委託)		
	ガラスびん	リサイクル				ガラスびん	リサイクル	保管		資源化(委託)		
	ペットボトル	リサイクル				ペットボトル	リサイクル	保管		資源化(委託)		
	プラスチック容器類	リサイクル				プラスチック容器類	リサイクル	保管		資源化(委託)		
	白色トレイ	リサイクル	白色トレイ	リサイクル		保管	資源化(委託)					
	(持込剪定枝)	リサイクル	田原市赤羽根環境センター			(持込剪定枝)	リサイクル	チップ化	田原市赤羽根環境センター	資源化(配布)		
割れガラス、陶器類	埋立	田原市赤羽根環境センター(最終処分場)または田原市瀬美最終処分場	1,593	埋めるごみ	埋立	—	田原市赤羽根環境センター(最終処分場)または田原市瀬美最終処分場	—	1,268			

※ 分別区分については、区分された廃棄物が具体的にどのような廃棄物を指すかを〔別添資料4〕に説明

(3) 処理施設等の整備

ア 廃棄物処理施設

上記(2)の分別区分及び処理体制で処理を行うため、表 10 のとおり必要な施設整備を行う。

表 10 実施する整備事業

事業番号	整備施設種類 施設名	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	マテリアルリサイクル推進施設 豊橋田原ごみ処理施設(予定)	豊橋田原ごみ処理施設整備事業	40t/日	豊橋市資源化センター周辺	(R9)～(R13)
2	エネルギー回収型廃棄物処理施設 豊橋田原ごみ処理施設(予定)	豊橋田原ごみ処理施設整備事業	420t/日	豊橋市資源化センター周辺	(R4)～(R9)
3	マテリアルリサイクル推進施設 豊橋市ビンカンストックヤード	豊橋市ビンカンストックヤード整備事業	300m ²	豊橋市南部環境センター敷地内	H28
4	マテリアルリサイクル推進施設 (仮称)田原資源ごみ処理施設(予定)	(仮称)田原市資源ごみ処理施設整備事業	未定	田原市東部資源化センターまたは田原市赤羽根環境センターまたは田原市渥美資源化センター	(R11)～(R12)

※現有処理施設の概要(市町村別の現有施設名・種類、処理する廃棄物、処理能力、所在地、竣工年等、施設の概要について一覧表としたもの)を〔別添資料 5〕に添付

※次期計画期間にまたがる事業は、全体事業期間を()で示す

(整備理由)

- 事業番号 1 既存施設の老朽化への対処、集約化、不燃ごみ、粗大ごみの破碎・選別及び資源化の促進
- 事業番号 2 既存施設の老朽化への対処、集約化、エネルギーの有効利用の促進
- 事業番号 3 分別収集体制の見直しに伴う対処、分別精度の向上
- 事業番号 4 既存施設の老朽化への対処、集約化、及び資源化の促進

イ 合併処理浄化槽の整備

合併処理浄化槽の整備については、表 11 のとおり行う。

表 11 合併処理浄化槽の整備計画

事業番号	事業	直近の整備済 基数(基) 平成25年度	整備計画 基数 (基)	整備計画 人口 (人)	事業期間
5	豊橋市浄化槽設置整備事業	7,704	255	754	H27~R3
6	田原市浄化槽設置整備事業	44	54	346	H27~R3

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表 12 のとおり計画支援事業を行う。

表 12 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	豊橋田原ごみ処理施設整備事業(事業番号 1,2) に係るごみ処理施設基本設計事業	基本設計	H27
	豊橋田原ごみ処理施設整備事業(事業番号 1,2) に係る発注仕様書作成・発注者支援事業	発注者支援	H30~R3 (H30~R4)*
	豊橋田原ごみ処理施設整備事業(事業番号 1,2) に係る環境影響評価事業	環境影響評価	H27~R3 (H26~R3)*
	豊橋田原ごみ処理施設整備事業(事業番号 1,2) に係る運営体制検討調査事業	PFI 導入可能性 調査等	H27
	豊橋田原ごみ処理施設整備事業(事業番号 1,2) に係る地質調査・用地測量事業	地質調査 用地測量	H29~H30
	豊橋田原ごみ処理施設整備事業(事業番号 1,2) に係るアスベスト調査事業	アスベスト調査	R3
32	(仮称)田原市資源ごみ処理施設整備事業(事業番号 4) に係る基本計画事業(予定)	基本計画	(R7)
	(仮称)田原市資源ごみ処理施設整備事業(事業番号 4) に係る測量・地質調査事業(予定)	測量地質調査	(R8)
	(仮称)田原市資源ごみ処理施設整備事業(事業番号 4) に係る焼却施設解体調査・基本設計事業(予定)	調査基本設計	(R8)

※全体事業期間を()で示す

(5) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア 再生利用品の需要拡大事業

① バイオマスの利活用

● 豊橋市

平成 29 年 10 月より稼働の豊橋市バイオマス利活用センターにおいて、下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみ（生活系及び事業系）のメタンガス化を行い、エネルギーとして有効利用を図っていく。

また、発酵後汚泥を炭化し、炭化燃料として有効利用を図っていく。

● 田原市

今後、生ごみ等のバイオマスの利活用を検討していく。

② 溶融スラグの有効利用

● 豊橋市

豊橋市資源化センター（ガス化溶融施設）では、ごみから金属類を回収し、灰分は溶融スラグとして有効利用している。

③ 炭化物の有効利用

● 田原市

田原リサイクルセンター（炭生館）（炭化施設）では、ごみから炭化物を生成して有効利用し、ごみに混入した金属類は回収し売却している。計画施設稼働までは、炭化を継続していく。

イ 廃家電・使用済み小型家電のリサイクルに関する普及啓発

● 豊橋市・田原市

廃家電・使用済み小型家電のリサイクルについては、家電リサイクル法や小型家電リサイクル法などに基づく、適切な回収、再商品化・資源化がなされるよう、関連団体や小売店などと協力して、普及啓発を行う。

ウ 不法投棄対策

● 豊橋市

不法投棄防止の広報活動による啓発やパトロール、看板や監視カメラの設置を行っている。

また、愛知県警察本部豊橋警察署の協力を得て年に 1 回県警のヘリコプターに搭乗し、産業廃棄物処理施設等で地上から監視できない場所を中心に上空から監視するスカイパトロールを実施している。

今後もこれを継続し、不法投棄の早期発見・早期解決につなげていく。

● 田原市

不法投棄防止の広報活動による啓発やパトロール、看板等の設置を行っている。

今後もこれを継続し、不法投棄の防止を図っていく。

エ 災害時の廃棄物処理に関する事項

豊橋市については「豊橋市地域防災計画」（平成31年2月修正）、「豊橋市災害廃棄物処理計画」（令和2年3月改訂）及び「廃棄物班行動マニュアル」（令和元年8月改訂）、田原市については「田原市地域防災計画」（令和元年12月修正）及び「田原市災害廃棄物処理計画」（平成28年11月）を踏まえ、災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の確保を図るため、地域内及び周辺地域との連携体制を構築する。

また、愛知県では平成28年10月に「愛知県災害廃棄物処理計画」を策定した。今後、当該計画と整合性を図りながら、諸条件に変動があった場合には、構成市それぞれにおいて、災害廃棄物処理計画の改訂を行っていく。仮置場の候補地を、表13に示す。

表13 仮置場の候補地

市名	仮置場の候補地
豊橋市	最終処分場、公園・広場等の市有地
田原市	廃棄物処理施設、公園、駐車場、保育園跡地、空地等の市有地

オ 浄化槽整備効率化事業

● 豊橋市

浄化槽台帳について、既存浄化槽の実態を正しく反映した状態とするための悉皆調査を実施する。実態を正しく反映した浄化槽台帳を整備することにより、浄化槽の維持管理の指導啓発や、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進を効率的に実施していく。

4. 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

豊橋市及び田原市は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、両市、愛知県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果を取りまとめた時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

循環型社会形成推進交付金事業実施計画 総括表 1

1. 地域の概要

(1)地域名	豊橋田原ブロック	(2)地域内人口	44,922人 (H26.4.1現在)	(3)地域面積	452.98 km ²
(4)構成市町村等名	豊橋市、田原市	(5)地域の要件*	(人口) 沖繩 離島 奄美 山形 半島 過疎 その他		
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村： 設立、許可予定 設立されていない場合、今後の見通し：				

※ 交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○をつける。

2. 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	過去の状況・現状(排出量に対する割合)					目標	
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	令和4年度	令和5年度
事業系 総排出量 (トン)	50,860	47,941	47,427	45,202	47,012	45,273 (H25比 -3.7%)	
1事業所当たりの排出量 (トン/事業所)	2.63	2.58	2.57	2.49	2.58	2.49 (H25比 -3.5%)	
生活系 総排出量 (トン)	120,413	117,133	117,478	116,587	115,342	102,854 (H25比 -10.8%)	
1人当たりの排出量 (kg/人)	222.4	218.1	221.3	221.6	220.5	175.1 (H25比 -20.6%)	
合計 事業系生活系の総排出量合計 (トン)	171,273	165,074	164,905	161,789	162,354	148,127 (H25比 -8.8%)	
再生利用量	10,926 (6.4%)	10,481 (6.3%)	10,131 (6.1%)	9,392 (5.8%)	9,009 (5.5%)	19,008 (12.8%)	
直接資源化量 (トン)	35,409 (19.6%)	35,342 (20.2%)	35,271 (20.3%)	36,914 (21.6%)	35,621 (20.8%)	46,049 (29.5%)	
総資源化量 (トン)	35,664	34,766	33,136	32,120	32,597	22,814	
エネルギー回収量	128,389	125,159	119,289	115,631	117,349	82,130	
エネルギー回収量 (年間の発電力量 MWh)	129,812	124,113	124,980	121,624	122,488		
エネルギー回収量 (年間の熱利用量 GJ)	(75.8%)	(75.2%)	(75.8%)	(75.2%)	(75.4%)		
減量化量 減量化量 (中間処理前後の差トン)	15,560 (9.1%)	15,132 (9.2%)	13,771 (8.4%)	12,188 (7.5%)	12,991 (8.0%)	10,745 (7.3%)	
最終処分量 埋立最終処分量 (トン)							

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。

一般廃棄物処理計画と目標値が異なる場合に、地域計画と一般廃棄物処理計画との整合性に配慮した内容

一般廃棄物処理計画期間内は地域計画と目標値は一致している。一般廃棄物処理期間後は一般廃棄物処理計画を踏まえて目標値を設定している。

循環型社会形成推進交付金事業実施計画 総括表 1

3. 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定 (1/2)

(1) 現有施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	開始年月	廃止又は休止(予定)年月	解体(予定)年月	備考
ごみ焼却施設	豊橋市資源化センター	豊橋市	キルン式ガス化溶融炉	400(t/日)	H14.4、H3.3	R10.3	—	
ごみ焼却施設	豊橋市資源化センター	豊橋市	ストカ炉	150(t/日)	H14.4、H3.3	R10.3	R10.4	
ごみ焼却施設	田原市リサイクルセンター	田原市	流動床式炭化炉	60(t/日)	H17.4	R10.3	—	
リサイクルセンター	豊橋市資源化センター	豊橋市	破碎	70(t/日)	H14.4	R14.3	—	
リサイクルセンター	豊橋市資源化センター	豊橋市	チップ化	10(t/日)	H24.4	—	—	
リサイクルセンター	豊橋市資源リサイクルセンター	豊橋市	選別、圧縮減容	49.2(t/日)	H2.4、H10.7	—	—	
リサイクルセンター	豊橋市プラスチックリサイクルセンター	豊橋市	選別、圧縮梱包	29(t/日)	H17.4	—	—	
リサイクルセンター	豊橋市西部環境センター	豊橋市	選別	—	H23.10	—	—	
リサイクルセンター	豊橋市南部環境センター	豊橋市	—	—	—	—	—	
リサイクルセンター	田原市真部資源化センター	田原市	破碎、圧縮、保管	15(t/5h)、162(m ³)	H6.4	R13.3	—	
リサイクルセンター	田原市赤羽根環境センター	田原市	保管	156(m ³)	H6.10	R13.3	—	
リサイクルセンター	田原市遊美資源化センター	田原市	保管	346(m ³)	H19.4	R13.3	—	
し尿処理施設	豊橋市資源化センター-H29.10から受入休止	豊橋市	標準脱窒素	243(kl/日)	S55.11	R10.3	R10.4	H29.10~施設内汚水及び場内排水のみ処理
し尿処理施設	田原市衛生センター	田原市	嫌気性消化、好気性消化、活性汚泥	100(kl/日)	S41.4	R4.6	R5.3	
有機性廃棄物リサイクル推進施設	豊橋市バイオマス活用センター	豊橋市	メタン発酵・湿式中温発酵方式	主・副処理 下水処理30m ³ /日 し尿・浄化槽汚泥処理2/日	H29.10	—	—	
最終処分場	豊橋市廃棄物最終処分場	豊橋市	セル、準好気性	1,850,000(m ³)	H4.11、H23.4	—	—	
最終処分場	田原市第二東部最終処分場	田原市	サンドインチ	40,600(m ³)	H19.4	—	—	
最終処分場	田原市赤羽根環境センター埋立処分場	田原市	サンドイッチ、準好気性	12,200(m ³)	H6.10	—	—	
最終処分場	田原市遊美最終処分場	田原市	サンドイッチ、セル	150,500(m ³)	H7.7	—	—	

(2) 更新(改良)・新設施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	竣工予定年月日	更新(改良)・新設理由	廃焼却施設の解体の有無及び解体施設名称	備考
ごみ焼却施設	豊橋田原ごみ処理施設	豊橋市 田原市	全連続式	420(t/日)	R10.3	広域処理のための新設	有 (豊橋市資源化センター)	
リサイクルセンター	豊橋田原ごみ処理施設	豊橋市 田原市	破碎・選別	40(t/日)	R14.3	広域処理のための新設	有 (豊橋市資源化センター)	
リサイクルセンター	(仮称)田原市資源ごみ処理施設	田原市	破碎・選別	—	R13.3	集約化のための新設	有 (田原市赤羽根環境センター)	

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1

4. 生活排水処理の現状と目標

指標・単位\年度	過去の状況・現状					目標
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
総人口 (年度未人口)	447,863	446,578	445,277	445,111	443,547	431,850
公共下水道 汚水衛生処理人口(人)	288,703	289,505	289,754	289,753	290,830	292,866
汚水処理人口普及率(%)	(64.5%)	(64.8%)	(65.1%)	(65.1%)	(65.6%)	(67.8%)
集落排水施設 等 汚水衛生処理人口(人)	53,563	54,506	55,172	56,717	57,799	54,506
汚水処理人口普及率(%)	(12.0%)	(12.2%)	(12.4%)	(12.7%)	(13.0%)	(12.6%)
合併処理 浄化槽等 汚水衛生処理人口(人)	42,079	41,752	42,584	43,604	43,573	45,404
汚水処理人口普及率(%)	(9.4%)	(9.3%)	(9.6%)	(9.8%)	(9.8%)	(10.5%)
未処理人口 汚水衛生未処理人口(人)	63,518	60,815	57,767	55,037	51,345	39,074

※ 指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを(別添資料3)に添付した。

※ 目標は、令和4年度当初の数値とする。

5. 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容(平成25年度末時点)		整備予定基数の内容		備考
		基数	処理人口	基数	処理人口	
浄化槽設置整備事業	豊橋市	7,704 基	26,619 人	255 基	754 人	令和4年度
浄化槽設置整備事業	田原市	44 基	291 人	54 基	346 人	令和4年度

施策種別	事業番号 ※1	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画							備考		
					開始	終了		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
処理体制の構築、変更に関するもの	21	生活系ごみの処理体制	生ごみはバイオマスとして有効利用を図る。残った可燃ごみは、広域施設を整備し、処理を進めていく。	豊橋市	H27	R3		バイオマス活用センター整備									バイオマス活用センターによる処理 広域施設の検討
	22	事業系ごみの処理体制	生ごみはバイオマスとしての利用を検討。残った可燃ごみは、広域施設を整備し、処理を進めていく。	田原市	H27	R3											生ごみ活用の検討 広域施設の検討
	22	事業系ごみの処理体制	対象事業所へ減量計画書の提出要請、「ごみ減量行動マニュアル」の作成及び啓発を継続していく。新たに搬入検査の強化、古紙などの搬入制限について検討していく。生ごみはバイオマスとして有効活用を図る。	豊橋市	H27	R3											減量計画書の提出要請 ごみ減量行動マニュアルでの啓発 搬入検査強化・搬入制限の検討 バイオマス活用センター整備 バイオマス活用センターによる処理
	23	一般廃棄物処理施設であわせて処理する産業廃棄物	「紙くず」「木くず」「繊維くず」「動植物性残さ」を受入れているが、施設負担軽減の観点から見直しを検討していく。	豊橋市	H27	R3											産廃受入の見直しを検討
	24	生活排水処理	下水道の整備・早期接続、合併処理浄化槽または農業集落排水施設等への転換を推進しており、今後も継続していく。下水汚泥、し尿及び浄化槽汚泥、生ごみを併せてバイオマスとして有効利用する。	豊橋市	H27	R3											生活雑排水処理率向上の推進 バイオマス活用センター整備 バイオマス活用センターによる処理
	24	生活排水処理	下水道及び農業集落排水の整備・早期接続、合併処理浄化槽への転換を推進しており、今後も継続していく。	田原市	H27	R3											生活雑排水処理率向上の推進
処理施設の整備に関するもの	1	豊橋田原ごみ処理施設整備事業	豊橋市・田原市の広域で、マテリアルリサイクル推進施設(40t/日)を整備する。	豊橋市 田原市	(R9)	(R13)	○										※2
	2	豊橋田原ごみ処理施設整備事業	豊橋市・田原市の広域で、エネルギー回収型廃棄物処理施設(420t/日)を整備する。	豊橋市 田原市	(R4)	(R9)	○										※2
	3	豊橋市ビンカンストックヤード整備事業	豊橋市の分別収集体制の見直しに伴い、ビンカンストックヤードを整備する。	豊橋市	H28	H28	○										
	4	(仮称)田原市資源ごみ処理施設整備事業	田原市の老朽化資源ごみ処理施設3か所を1か所へ統合整備し、効率的な運営を図る。	田原市	(R11)	(R12)	○										※2
	5	豊橋市浄化槽設置整備事業	合併処理浄化槽の整備(255基)を行う。	豊橋市	H27	R3	○										合併処理浄化槽の整備
	6	田原市浄化槽設置整備事業	合併処理浄化槽の整備(54基)を行う。	田原市	H27	R3	○										合併処理浄化槽の整備

※1 処理施設の整備に係る事業番号については、計画本文3(3)表10~11、(4)表12に示す事業番号及び様式2の事業番号と一致させること。

※2 ()で示す事業期間は、次期計画に係る。

施策種別	事業番号 ※1	施策の 名称等	施策の概要	実施 主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画							備考			
					開始	終了		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3				
施設整備 に係る計 画支援に 関するもの	31	事業番号1,2 に係る 計画支援 事業	ごみ処理施設基本設計事業	豊橋市 田原市	H27	H27	○	設計									事業番号 1,2に関 連 ※2	
			発注仕様書作成・発注者支援 事業		H30	(R4)	○				発注仕様書作成							
			環境影響評価事業 *平成26年度に計画段階環境配 慮書の手続きを実施		H27 (H26)	R3	○				方法書～評価書							
			運営体制検討調査事業		H27	H27	○	調査										
			地質調査・用地測量事業		H29	H30	○				調査							
			アスベスト調査事業		R3	R3	○									調査		
32	事業番号4 に係る計画 支援事業	基本計画事業	田原市	(R7)	(R7)	○										事業番号 4に関連 ※2		
		測量・地質調査事業		(R8)	(R8)	○												
		焼却施設解体調査・基本設計 事業		(R8)	(R8)	○												
その他	41	再生利用品の 需要拡大 事業	豊橋市資源化センター1、2号 炉において金属回収、溶融スラ グの有効利用を行っている。 新たに下水汚泥、し尿及び浄化 槽汚泥、生ごみを併せてバイオ マスとして有効利用する。	豊橋市	H27	R3		金属回収、溶融スラグの有効利用										
			田原リサイクルセンターにおいて 炭化物の有効利用、ごみに混 入した金属回収を行っている。 生ごみ等の利活用を検討してい く。		田原市	H27	R3		バイオマス利活用 センター整備									バイオマス利活用センターによる 処理
	42	廃家電のリサ イクルに関す る普及啓発	関連団体や小売店などと協力し て、普及啓発を行う。	豊橋市	H27	R3											普及啓発	
			関連団体や小売店などと協力し て、普及啓発を行う。	田原市	H27	R3											普及啓発	
	43	不法投棄 対策	広報活動、パトロール、看板や 監視カメラの設置、スカイパ トロールを行っており、今後も継 続していく。	豊橋市	H27	R3											広報活動、パトロール等	
			広報活動、パトロール、看板等 の設置を行っており、今後も継 続していく。	田原市	H27	R3											広報活動、パトロール等	
44	災害時の廃 棄物処理に 関する事項	災害廃棄物処理計画を策定 (改訂)するほか、地域内及び 周辺地域との連携体制を構築 する。	豊橋市	H27	R3		計画								随時改訂	連携体制の構築		
		災害廃棄物処理計画を策定 (改訂)するほか、地域内及び 周辺地域との連携体制を構築 する。	田原市	H27	R3		計画								随時改訂	連携体制の構築		
45	浄化槽整備 効率化事業	既存浄化槽の実態を正しく反映し た浄化槽台帳を整備するための 実地調査を実施する。	豊橋市	R3	R3 (R4)									調査				

※1 処理施設の整備に係る事業番号については、計画本文3(3)表10～11、(4)表12に示す事業番号及び様式2の事業番号と一致させること。

※2 ()で示す事業期間は、次期計画に係る。

施設概要(マテリアルリサイクル施設系) 【参考資料様式1】

都道府県名: 愛知県

(1) 事業主体名	豊橋市、田原市
(2) 施設名称	豊橋田原ごみ処理施設
(3) 工期	令和 9 年度 ~ 令和 13 年度
(4) 施設規模	処理能力 40 t/日
(5) 処理方式	不燃ごみ・粗大ごみ 破碎・選別
(6) 地域計画内の役割	豊橋市、田原市の広域ブロックのごみ処理
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	(有) 無
(8) 事業計画額	計画期間内 0 千円 全体 (5,411,000 千円)

* 今後実施する発注仕様書作成・発注者支援事業の中で、整備する設備の仕様などを決定していく。

* 工期は次期計画期間となる。

施設概要(マテリアルリサイクル施設系) 【参考資料様式1】

都道府県名: 愛知県

(1) 事業主体名	豊橋市
(2) 施設名称	豊橋市南部環境センター ビンカンストックヤード
(3) 工期	平成 28 年度
(4) 施設規模	300 m ²
(5) 処理方式	一時貯留
(6) 地域計画内の役割	豊橋市の収集運搬
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
(8) スtock対象物	資源ごみ ビンカン
(9) 事業計画額	44,820 千円

施設概要(マテリアルリサイクル施設系) 【参考資料様式1】

都道府県名: 愛知県

(1) 事業主体名	田原市
(2) 施設名称	(仮称)田原市資源ごみ処理施設
(3) 工期	令和 11 年度 ~ 令和 12 年度
(4) 施設規模	未定
(5) 処理方式	資源・不燃ごみ 破碎、圧縮、保管、選別、展示
(6) 地域計画内の役割	田原市の資源・不燃ごみ処理
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
(8) 事業計画額	計画期間内 0 千円 全体 (900,000 千円)

- * 今後実施する基本設計の中で、整備する設備の規模及び仕様などを決定していく。
- * 工期は次期計画期間となる。

施設概要(エネルギー回収施設系)

【参考資料様式2】

都道府県名: 愛知県

(1) 事業主体名	豊橋市、田原市
(2) 施設名称	豊橋田原ごみ処理施設
(3) 工期	令和 4 年度～令和 9 年度
(4) 施設規模	処理能力 420 t/日
(5) 形式及び処理方式	今後の設備計画の検討の中で検討する
(6) 余熱利用の計画	1. 発電の有無 <input checked="" type="radio"/> 有(発電効率 %) ・ 無 2. 熱回収の有無 <input checked="" type="radio"/> 有(熱利用率 %) ・ 無
(7) 地域計画内の役割	豊橋市、田原市の広域ブロックのごみ処理
(8) 廃焼却施設解体工事の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 無
(9) 事業計画額	計画期間内 0 千円 全体 (38,380,000 千円)

* 今後実施する発注仕様書作成・発注者支援事業の中で、整備する設備の仕様などを決定していく。

* 工期は次期計画期間となる。

施設概要(浄化槽系)

【参考資料様式6】

都道府県名: 愛知県

(1) 事業主体名	豊橋市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	公共用水域への生活雑排水の流入を低減するため、合併処理浄化槽の設置整備を図る。
(4) 事業期間	平成 27 年度 ~ 令和 3 年度
(5) 事業対象地域の要件	浄化槽設置整備事業実施要綱 第3 (1) ア (エ) 水質汚濁の著しい閉鎖性水域の流域
(6) 事業計画額	交付金対象事業費 126,220 千円 うち ・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に係る事業費 111,220 千円

○事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 (754 人分)	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	111 基(311 人分)	40,812 千円	47,028 千円	40,812 千円
6~7人槽	130 基(364 人分)	62,100 千円	71,070 千円	62,100 千円
8~10人槽	11 基(62 人分)	6,298 千円	7,310 千円	6,298 千円
11~20人槽	2 基(11 人分)	1,878 千円	1,280 千円	1,280 千円
21~30人槽	基(人分)			
31~50人槽	1 基(6 人分)	2,127 千円	730 千円	730 千円
51人槽以上	基(人分)			
浄化槽整備 効率化事業	台帳作成費	15,000 千円	23,205 千円	15,000 千円
	計画策定調査費			
合計	255 基(754 人分)	128,215 千円	150,623 千円	126,220 千円

施設概要(浄化槽系)

【参考資料様式 6】

都道府県名： 愛知県

(1) 事業主体名	田原市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	公共用水域への生活雑排水の流入を低減するため、合併処理浄化槽の設置整備を図る。
(4) 事業期間	平成 27 年度 ~ 令和 3 年度
(5) 事業対象地域の要件	浄化槽設置整備事業実施要綱第3(1)のア(キ)その他人口増加の著しい等上記の地域と同等以上に雑排水対策を推進する必要があると認められる地域
(6) 事業計画額	交付金対象事業費 20,856 千円

○事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 (346 人分)	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象事業費
5人槽	28 基(140 人分)	9,296 千円	9,221 千円	9,221 千円
6~7人槽	18 基(126 人分)	7,452 千円	7,348 千円	7,348 千円
8~10人槽	8 基(80 人分)	4,384 千円	4,287 千円	4,287 千円
11~20人槽	基(人分)			
21~30人槽	基(人分)			
31~50人槽	基(人分)			
51人槽以上	基(人分)			
計画策定 調査費	台帳作成費			
	計画策定調査費			
合 計	54 基(346 人分)	21,132 千円	20,856 千円	20,856 千円

計画支援概要

【参考資料様式 7】

都道府県名： 愛知県

(1) 事業主体名	豊橋市、田原市		
(2) 事業目的	豊橋田原ごみ処理施設整備事業(事業番号1,2)		施設整備のため

(3) 事業名称	ごみ処理施設基本設計事業	発注仕様書作成・発注者支援事業	環境影響評価事業
(4) 事業期間	平成 27 年度	平成 30 年度 ~ 令和 3 年度 (全体:H30~R4年度)	平成 27 年度 ~ 令和 3 年度 (全体:H26~R3年度)
(5) 事業概要	・ごみ処理施設基本設計	・発注支援 (発注仕様書作成含む)	・環境影響評価 (配慮書~評価書)
(6) 事業計画額	7,452 千円	59,998 千円 (全体 76,520 千円)	129,285 千円 (全体 130,285 千円)

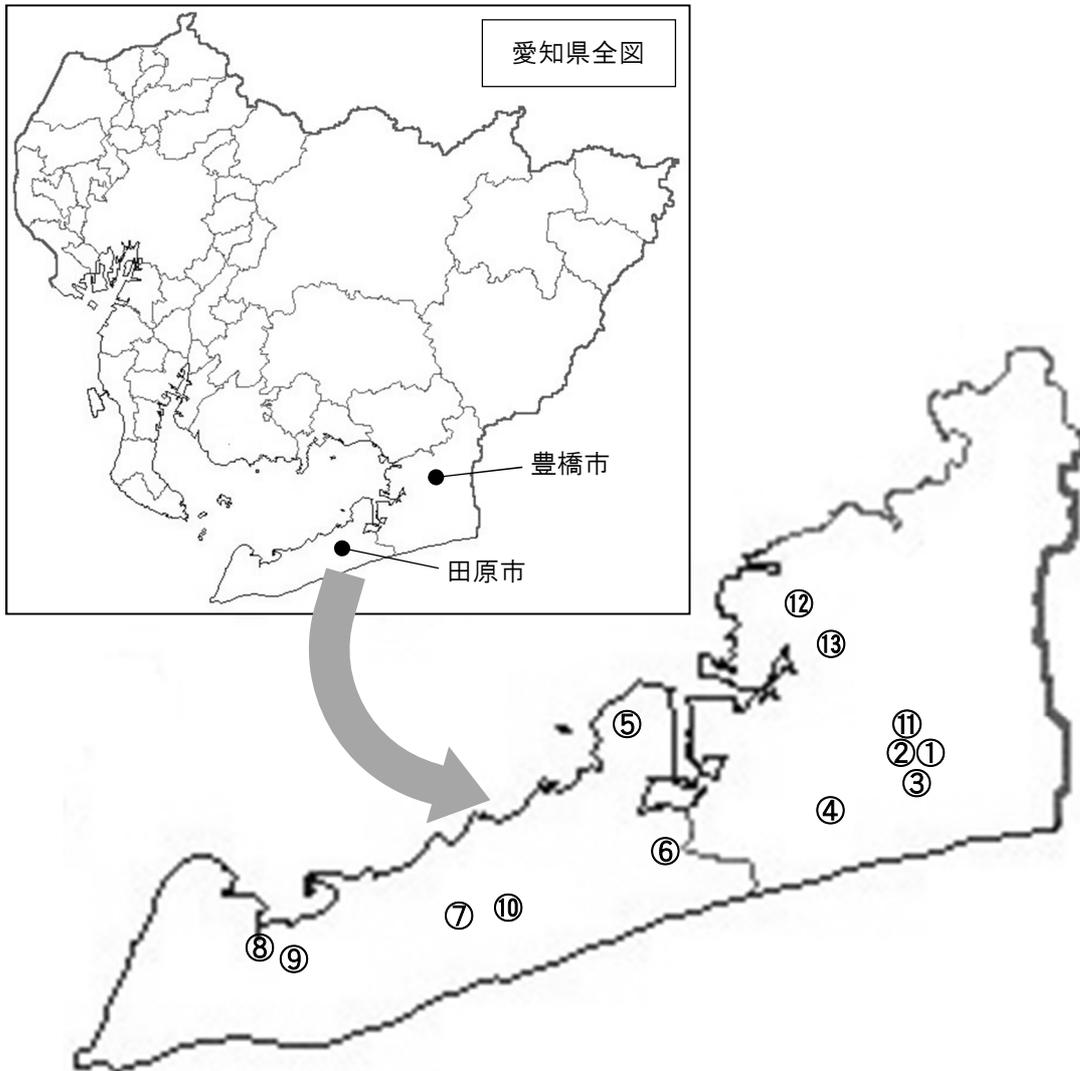
(3) 事業名称	運営体制検討調査事業	地質調査・用地測量事業	アスベスト調査事業
(4) 事業期間	平成 27 年度	平成 29 年度 ~ 平成 30 年度	令和 3 年度
(5) 事業概要	・PFI導入可能性調査等	・地質調査 ・用地測量	・アスベスト調査
(6) 事業計画額	3,294 千円	29,132 千円	2,860 千円

計画支援概要

【参考資料様式 7】

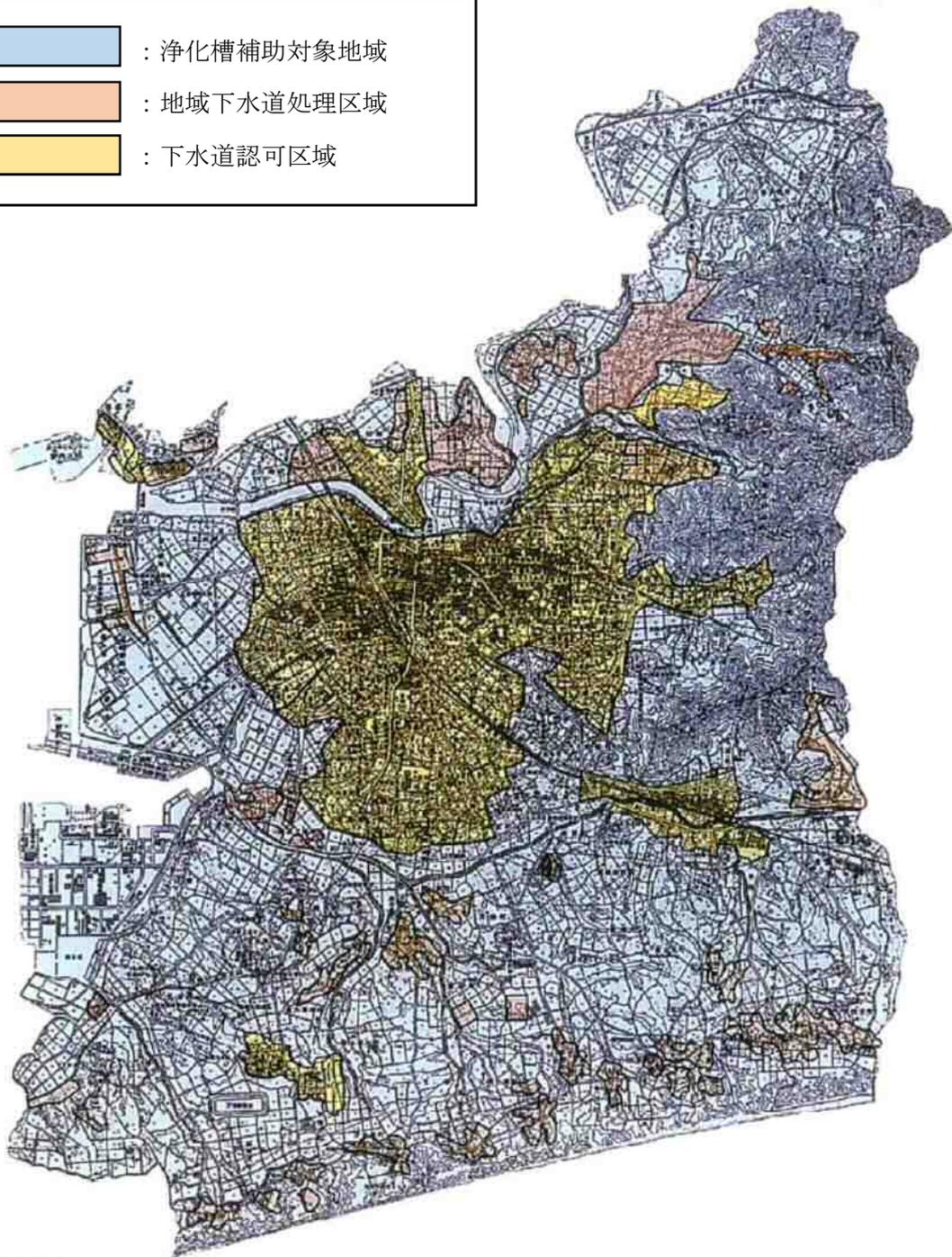
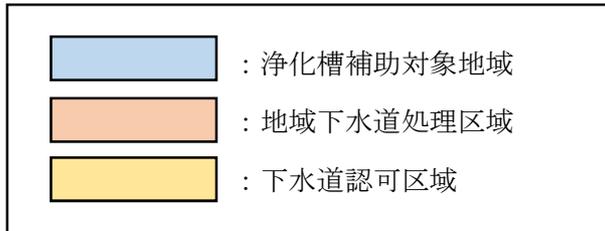
都道府県名： 愛知県

(1) 事業主体名	田原市		
(2) 事業目的	(仮称)田原市資源ごみ処理施設整備事業(事業番号4) 施設整備のため		
(3) 事業名称	基本計画事業	測量・地質調査事業	焼却施設解体 調査・基本設計 事業
(4) 事業期間	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 8 年度
(5) 事業概要	・資源ごみ処理施設基本計画	・資源ごみ処理施設測量 ・資源ごみ処理施設地質調査	・焼却施設解体調査・基本設計
(6) 事業計画額	千円 計画期間内 0 千円 全体 (8,000) 千円	千円 計画期間内 0 千円 全体 (2,500) 千円	千円 計画期間内 0 千円 全体 (15,000) 千円

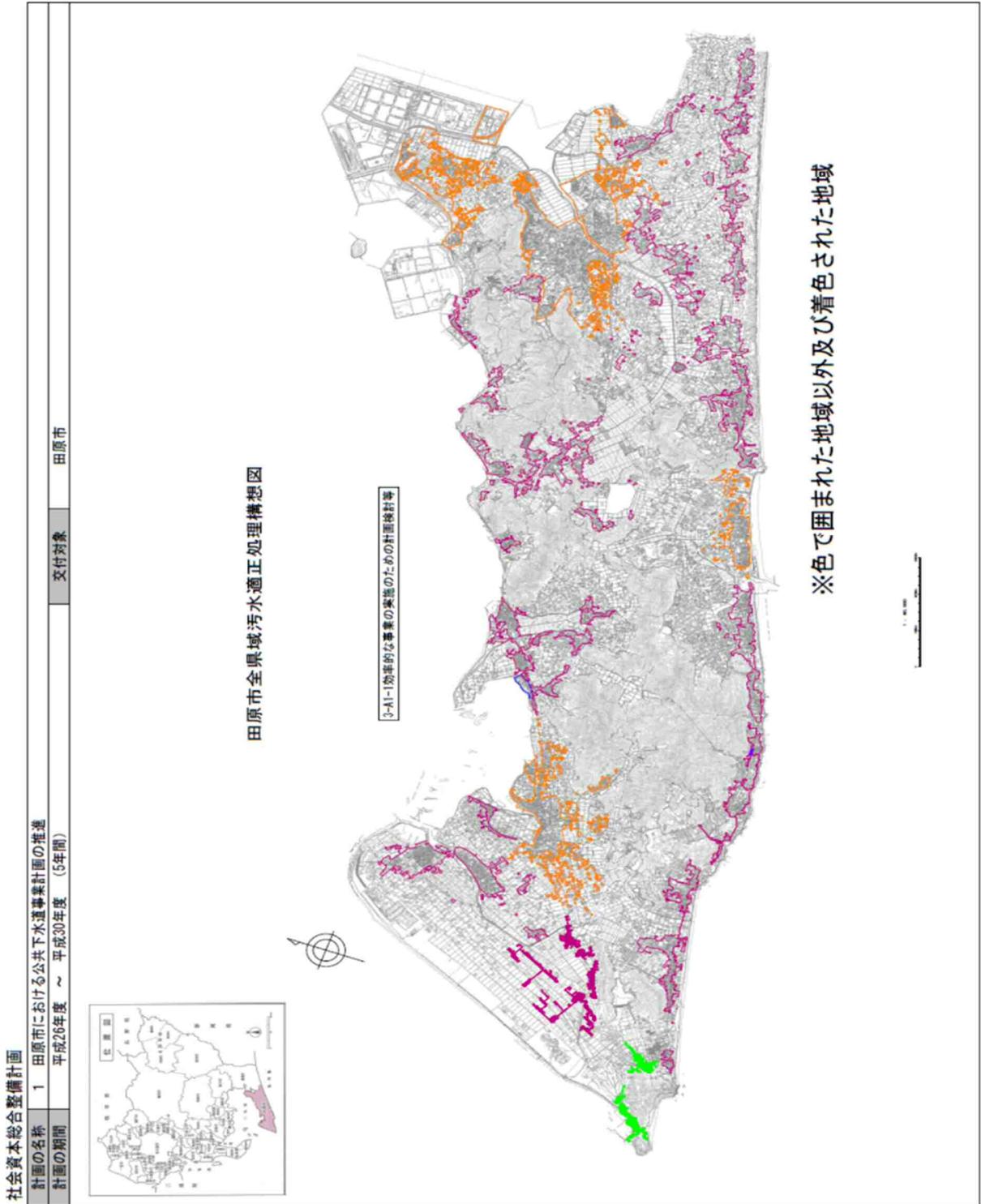


- | | |
|--|-------------------------------------|
| ① 豊橋市資源化センター
(焼却処理施設、再利用施設、
剪定枝リサイクル施設、し尿処理施設) | ⑤ 田原リサイクルセンター(炭生館) |
| ② 豊橋市資源リサイクルセンター | ⑥ 田原市東部資源化センター
田原市第二東部最終処分場 |
| ③ 豊橋市プラスチックリサイクルセンター | ⑦ 田原市赤羽根環境センター
田原市赤羽根環境センター最終処分場 |
| ④ 豊橋市廃棄物最終処分場 | ⑧ 田原市渥美資源化センター |
| ⑪ 豊橋市南部環境センター | ⑨ 田原市渥美最終処分場 |
| ⑫ 豊橋市西部環境センター | ⑩ 田原市衛生センター |
| ⑬ 豊橋市バイオマス利活用センター | |

(豊橋市)

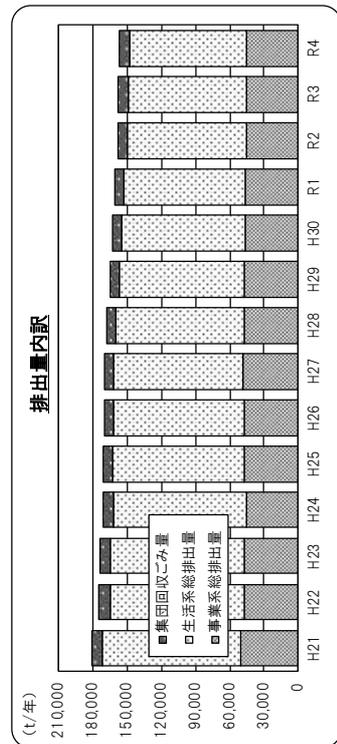
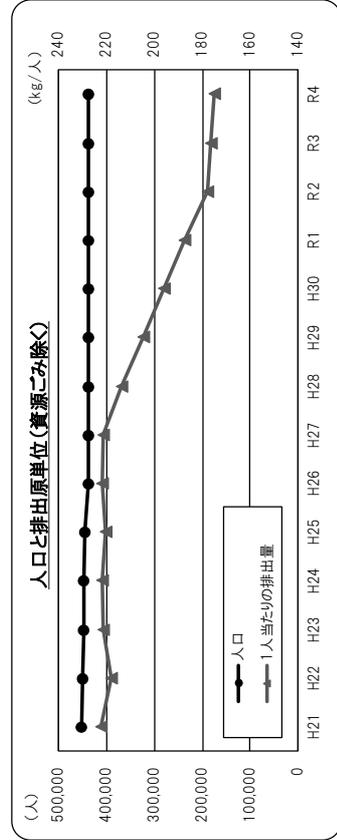


(田原市)



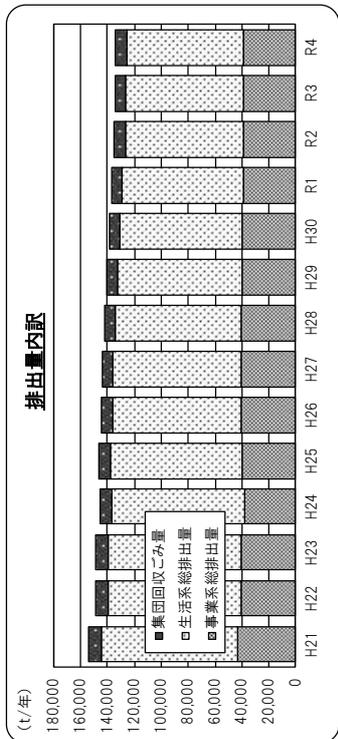
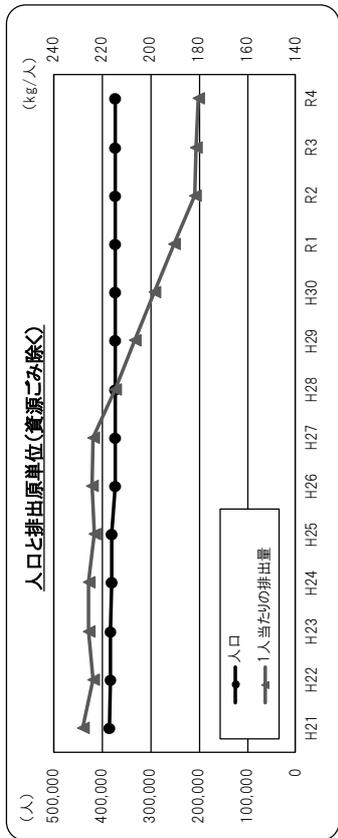
豊橋市・田原市におけるごみの現状と目標

指標・単位\年度	過去の状況・現状(排出量に対する割合)										目標			
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
事業系	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
事業系総排出量	50,860	47,941	47,427	45,202	47,012	47,735	48,785	47,747	47,163	46,592	46,117	45,427	45,354	45,273
うち資源ごみ量	2,077	2,000	1,901	1,830	1,718	1,853	2,541	1,964	1,982	2,000	2,018	2,037	2,048	2,062
事業所数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1事業所当たりの排出量	18,828	17,796	17,702	17,412	17,549	17,468	17,444	17,455	17,415	17,415	17,406	17,397	17,388	17,379
生活系	263	258	257	249	258	262	265	262	259	256	253	249	249	249
生活系総排出量	120,413	117,133	117,478	116,587	115,942	114,036	113,061	111,486	109,705	107,955	106,390	104,429	103,656	102,854
うち資源ごみ量	20,140	19,272	18,385	17,629	17,161	17,098	16,405	18,165	20,271	22,387	24,518	26,671	26,502	26,384
人口	450,946	448,657	447,847	446,489	445,233	437,436	436,885	436,926	436,966	437,006	437,047	437,085	436,906	436,727
1人当たりの排出量	222.4	218.1	221.3	221.6	220.5	221.6	221.2	213.6	204.7	195.8	187.3	177.9	176.6	175.1
(事業系生活系排出量合計)	171,273	165,074	164,905	161,789	162,354	161,771	161,846	159,233	156,868	154,537	152,507	149,856	149,010	148,127
集団回収	9,508	9,513	9,117	8,937	8,746	8,185	7,905	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200
総合計	180,781	174,587	174,022	170,726	171,100	169,956	169,751	167,433	165,068	162,737	160,707	158,056	157,210	156,327
再生利用量	10,926	10,481	10,131	9,392	9,009	9,396	9,467	10,660	12,758	14,866	16,993	19,063	19,030	19,008
減量化量	14,975	15,348	16,023	18,585	17,866	16,548	16,416	16,370	18,373	19,158	19,095	19,052	18,933	18,841
最終処分量	9,508	9,513	9,117	8,937	8,746	8,185	7,905	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200
エネルギー回収量	35,409	35,342	35,271	36,914	35,621	34,129	33,788	35,230	39,331	42,224	44,288	46,315	46,163	46,049
年間発電力量	129,812	124,113	124,980	121,624	122,488	121,993	122,141	118,696	113,892	109,022	105,207	100,855	100,214	99,534
エネルギー回収率	15,560	15,132	13,771	12,188	12,991	13,834	13,822	13,507	11,845	11,491	11,212	10,886	10,833	10,745
エネルギー回収率	180,781	174,587	174,022	170,726	171,100	169,956	169,751	167,433	165,068	162,737	160,707	158,056	157,210	156,327
エネルギー回収率	35,664	34,766	33,136	32,120	32,597	31,510	30,423	29,336	28,249	27,162	26,075	24,988	23,901	22,814



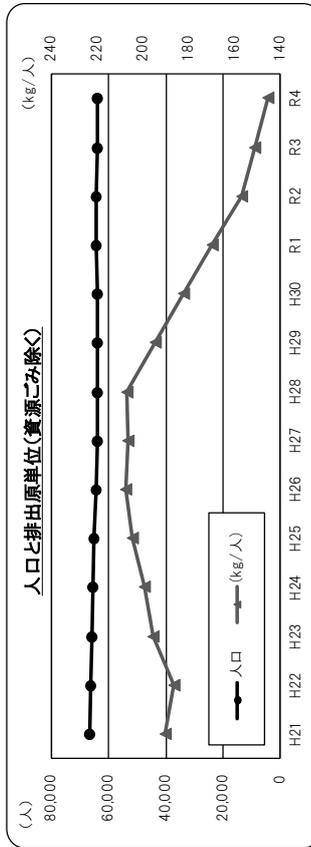
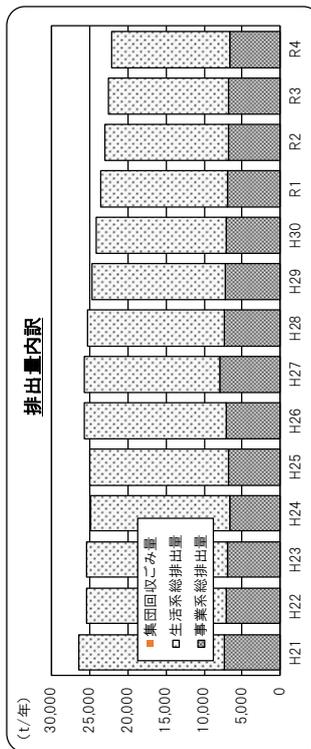
豊橋市におけるごみの現状と目標

指標、単位、年度	過去の状況(現状(排出量に対する割合))												目標			
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4		
事業系																
事業系総排出量	(ト)	43,519	40,818	40,544	38,562	40,200	40,642	40,922	40,374	39,932	39,490	38,612	38,612	38,608		
うち資源ごみ量	(ト)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業所数	(事業所)	15,438	14,884	14,968	14,856	15,009	14,944	14,936	14,963	14,948	14,955	14,962	14,969	14,983		
1事業所当たりの排出量	ト/(事業所)	2.82	2.74	2.71	2.60	2.68	2.72	2.74	2.70	2.67	2.64	2.62	2.58	2.58		
生活系																
生活系総排出量	(ト)	101,368	98,892	99,036	98,401	97,224	95,512	95,313	93,654	92,293	90,964	89,818	88,275	87,455		
うち資源ごみ量	(ト)	13,785	13,381	12,831	12,472	12,355	11,918	11,857	13,568	15,312	17,059	18,815	20,404	20,268		
人口	(人)	384,328	382,509	381,903	381,103	380,216	373,054	373,032	373,011	372,989	372,967	372,946	372,924	372,880		
1人当たりの排出量	(kg/人)	227.9	223.6	225.7	225.5	223.2	224.1	223.7	214.7	206.4	198.2	190.4	181.5	180.2		
合計	(ト)	144,887	139,710	139,580	136,963	137,424	136,154	136,235	134,028	132,225	130,454	128,982	126,887	126,063		
集団回収	(ト)	9,508	9,513	9,117	8,937	8,746	8,185	7,905	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200		
総回収	(ト)	154,395	149,223	148,697	145,900	146,170	144,339	144,140	142,228	140,425	138,654	137,182	135,087	134,263		
総合計	(ト)	2,494	2,590	2,676	2,405	2,485	2,363	2,378	4,099	5,817	7,538	9,272	10,942	10,830		
再生利用量	(ト)	14,244	14,532	15,034	17,677	16,991	15,686	15,613	15,558	17,602	18,428	18,407	18,406	18,235		
減量化量	(ト)	9,508	9,513	9,117	8,937	8,746	8,185	7,905	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200		
最終処分量	(ト)	26,246	26,635	26,827	29,019	28,222	26,234	25,896	27,857	31,619	34,166	35,879	37,548	37,265		
中間処理による減量化量	(ト)	114,375	109,197	110,168	106,486	106,550	105,989	106,193	102,578	98,588	94,539	91,549	88,030	87,521		
埋立最終処分量	(ト)	13,774	13,391	11,702	10,395	11,398	12,116	12,051	11,793	10,218	9,949	9,754	9,509	9,477		
総合計	(ト)	154,395	149,223	148,697	145,900	146,170	144,339	144,140	142,228	140,425	138,654	137,182	135,087	134,263		
エネルギー回収量	(MWh)	35,664	34,766	33,136	32,120	32,597	31,510	30,423	29,336	28,249	27,162	26,075	24,988	22,814		



田原市におけるごみの現状と目標

指標・単位・年度	過去の状況・現状(排出量に対する割合)												目標			
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4		
事業系																
事業系総排出量	7,341	7,123	6,893	6,640	6,812	7,093	7,863	7,373	7,231	7,092	6,963	6,815	6,742	6,665		
うち資源ごみ量	2,077	2,000	1,901	1,830	1,718	1,853	2,541	1,964	1,982	2,000	2,018	2,037	2,048	2,062		
事業所数	3,090	2,912	2,734	2,556	2,540	2,524	2,508	2,492	2,476	2,460	2,444	2,428	2,412	2,396		
1事業所当たりの排出量	1.70	1.76	1.82	1.88	2.01	2.08	2.12	2.17	2.12	2.07	2.02	1.97	1.95	1.92		
生活系																
生活系総排出量	19,045	18,241	18,442	18,186	18,118	18,524	17,748	17,832	17,412	16,991	16,572	16,154	15,774	15,399		
うち資源ごみ量	6,355	5,891	5,554	5,157	4,806	5,180	4,548	4,597	4,959	5,328	5,703	6,084	6,098	6,116		
人口	66,618	66,148	65,944	65,386	65,017	64,382	63,853	63,915	63,977	64,039	64,101	64,161	64,004	63,847		
1人当たりの排出量	190.5	186.7	195.4	199.3	204.7	207.3	206.7	207.1	194.6	182.1	169.6	156.9	151.2	145.4		
合計	26,386	25,364	25,325	24,826	24,930	25,617	25,611	25,205	24,643	24,083	23,525	22,969	22,516	22,064		
集回収	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
総合計	26,386	25,364	25,325	24,826	24,930	25,617	25,611	25,205	24,643	24,083	23,525	22,969	22,516	22,064		
処理・処分量																
直接資源化量	8,432	7,891	7,455	6,987	6,524	7,033	7,089	6,561	6,941	7,328	7,721	8,121	8,146	8,178		
処理後資源化量	731	816	989	908	875	862	803	812	771	730	688	646	626	606		
集回収ごみ量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
総資源化量	9,163	8,707	8,444	7,895	7,399	7,895	7,892	7,373	7,712	8,058	8,409	8,767	8,772	8,784		
中間処理による減量化量	15,437	14,916	14,812	15,138	15,938	16,004	15,948	16,118	15,305	14,483	13,658	12,825	12,422	12,013		
埋立最終処分量	1,786	1,741	2,069	1,793	1,593	1,718	1,771	1,714	1,627	1,542	1,458	1,377	1,322	1,268		
総合計	26,386	25,364	25,325	24,826	24,930	25,617	25,611	25,205	24,643	24,083	23,525	22,969	22,516	22,064		
エネルギー回収量																
年間の発電力量																

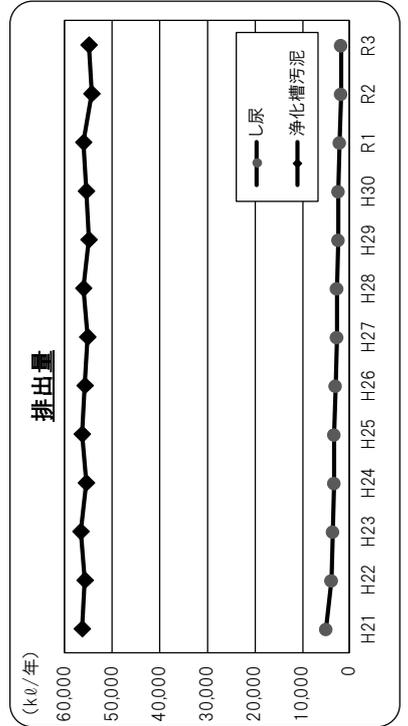
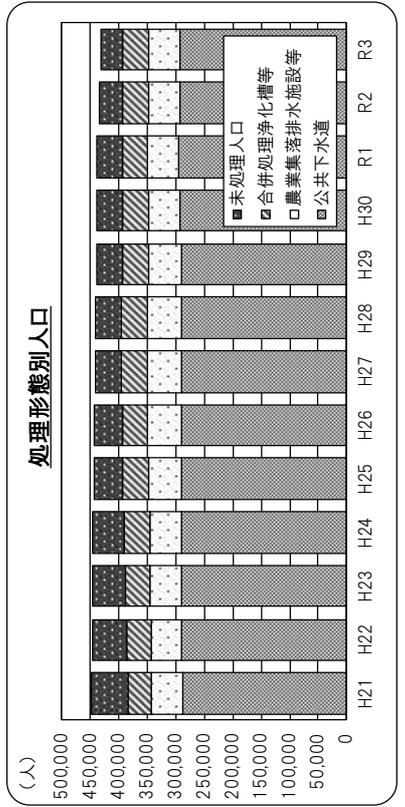


指標と人口等との要因に関するトレンドグラフ(生活排水)

豊橋市・田原市における生活排水の現状と目標

指標・単位\年度	過去の状況・現状											実績						目標		
	単位	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R1	R2	R3			
公共下水道	(人)	288,703	289,505	289,754	289,753	290,830	291,378	291,488	290,842	290,994	292,240	294,552	292,978	292,866						
	(%)	(64.5%)	(64.8%)	(65.1%)	(65.1%)	(65.6%)	(65.9%)	(66.0%)	(66.1%)	(66.2%)	(66.7%)	(67.3%)	(67.7%)	(67.8%)						
集落排水施設等	(人)	53,563	54,506	55,172	56,717	57,799	58,245	59,476	58,854	57,839	56,278	55,094	54,683	54,506						
	(%)	(12.0%)	(12.2%)	(12.4%)	(12.7%)	(13.0%)	(13.2%)	(13.5%)	(13.4%)	(13.2%)	(12.8%)	(12.6%)	(12.6%)	(12.6%)						
合併処理浄化槽等	(人)	42,079	41,752	42,584	43,604	43,573	44,080	44,164	45,014	44,911	44,991	44,653	44,457	45,404						
	(%)	(9.4%)	(9.3%)	(9.6%)	(9.8%)	(9.8%)	(10.0%)	(10.0%)	(10.2%)	(10.2%)	(10.3%)	(10.2%)	(10.3%)	(10.5%)						
単独処理浄化槽	(人)	55,780	54,308	51,803	49,526	46,027	43,733	41,957	41,123	41,619	41,312	40,019	37,882	36,193						
	(%)	(12.5%)	(12.2%)	(11.6%)	(11.1%)	(10.4%)	(9.9%)	(9.5%)	(9.3%)	(9.5%)	(9.4%)	(9.1%)	(8.7%)	(8.4%)						
汲み取り	(人)	7,738	6,507	5,964	5,511	5,318	4,908	4,343	4,227	3,956	3,551	3,387	3,077	2,881						
	(%)	(1.7%)	(1.5%)	(1.3%)	(1.2%)	(1.2%)	(1.1%)	(1.0%)	(1.0%)	(0.9%)	(0.8%)	(0.8%)	(0.7%)	(0.7%)						
未処理人口	(人)	63,518	60,815	57,767	55,037	51,345	48,641	46,300	45,350	45,575	44,863	43,406	40,959	39,074						
	(%)	(14.2%)	(13.6%)	(13.0%)	(12.4%)	(11.6%)	(11.0%)	(10.5%)	(10.3%)	(10.4%)	(10.2%)	(9.9%)	(9.5%)	(9.0%)						
総人口	(人)	447,863	446,578	445,277	445,111	443,547	442,344	441,428	440,060	439,319	438,372	437,705	433,077	431,850						
	(k ϕ)	4,919	3,959	3,625	3,328	3,328	3,094	2,751	2,612	2,495	2,265	2,122	1,968	1,842						
浄化槽汚泥	(k ϕ)	56,269	55,909	56,558	55,567	56,240	55,940	55,101	56,224	55,028	55,636	56,148	54,226	54,802						
	(k ϕ)	61,188	59,868	60,183	58,895	59,568	59,034	57,852	58,836	57,523	57,901	58,270	56,194	56,644						

※ 処理形態別人口は、年度末人口を示す。

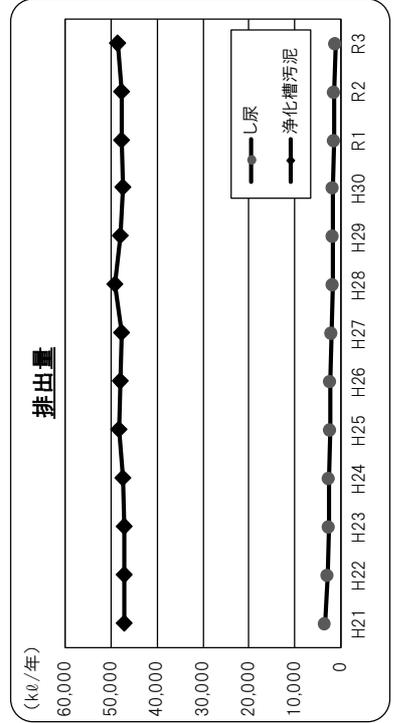
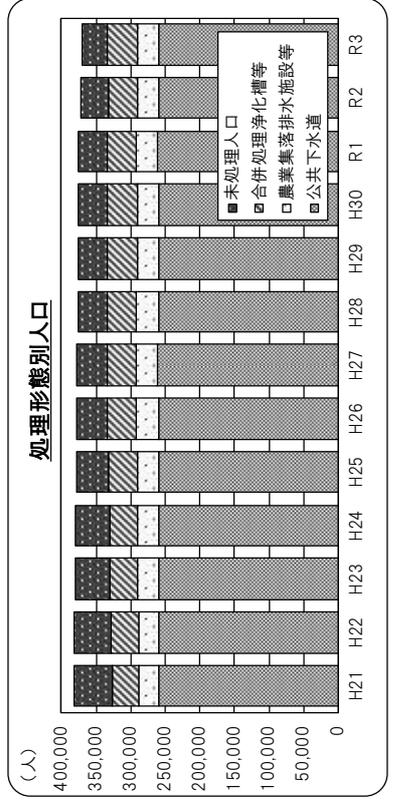


指標と人口等との要因に関するトレンドグラフ(生活排水)

豊橋市における生活排水の現状と目標

指標・単位\年度	過去の状況・現状											実績					目標		
	単位	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3					
公共下水道	(人)	259,987	259,537	259,251	258,876	259,830	260,438	260,559	260,032	259,805	259,574	261,067	259,478	259,266					
	(%)	(68.0%)	(68.0%)	(68.1%)	(68.2%)	(68.6%)	(68.9%)	(69.0%)	(69.0%)	(69.0%)	(69.0%)	(69.4%)	(69.8%)	(69.9%)					
集落排水施設等	(人)	28,278	29,530	30,499	30,703	30,637	31,385	31,302	31,195	30,871	30,670	30,520	30,183	30,086					
	(%)	(7.4%)	(7.8%)	(8.0%)	(8.1%)	(8.1%)	(8.3%)	(8.3%)	(8.3%)	(8.2%)	(8.2%)	(8.1%)	(8.1%)	(8.1%)					
合併処理浄化槽等	(人)	37,804	38,638	39,516	40,686	41,051	41,600	42,105	42,705	42,559	42,831	42,897	42,857	43,804					
	(%)	(9.9%)	(10.1%)	(10.4%)	(10.7%)	(10.8%)	(11.0%)	(11.2%)	(11.3%)	(11.3%)	(11.4%)	(11.4%)	(11.5%)	(11.8%)					
単独処理浄化槽	(人)	49,405	48,094	45,935	44,438	42,096	39,992	39,632	39,102	39,603	39,785	38,593	36,632	34,993					
	(%)	(12.9%)	(12.6%)	(12.1%)	(11.7%)	(11.1%)	(10.6%)	(10.5%)	(10.4%)	(10.5%)	(10.6%)	(10.3%)	(9.8%)	(9.4%)					
汲み取り	(人)	7,017	5,832	5,337	4,975	4,916	4,547	3,977	3,852	3,640	3,321	3,064	2,850	2,651					
	(%)	(1.8%)	(1.5%)	(1.4%)	(1.3%)	(1.3%)	(1.2%)	(1.1%)	(1.0%)	(1.0%)	(0.9%)	(0.8%)	(0.8%)	(0.7%)					
未処理人口	(人)	56,422	53,926	51,272	49,413	47,012	44,539	43,609	42,954	43,243	43,106	41,657	39,482	37,644					
	(%)	(14.8%)	(14.1%)	(13.5%)	(13.0%)	(12.4%)	(11.8%)	(11.5%)	(11.4%)	(11.5%)	(11.5%)	(11.1%)	(10.6%)	(10.2%)					
総人口	(人)	382,491	381,631	380,538	379,678	378,530	377,962	377,575	376,886	376,478	376,181	376,141	372,000	370,800					
	(k0)	3,465	2,886	2,654	2,460	2,428	2,256	1,936	1,875	1,773	1,617	1,492	1,388	1,291					
浄化槽汚泥	(k0)	47,161	47,158	46,985	47,448	48,308	48,066	47,628	49,132	47,890	47,399	47,793	47,626	48,532					
	(k0)	50,626	50,044	49,639	49,908	50,736	50,322	49,564	51,007	49,663	49,016	49,285	49,014	49,823					

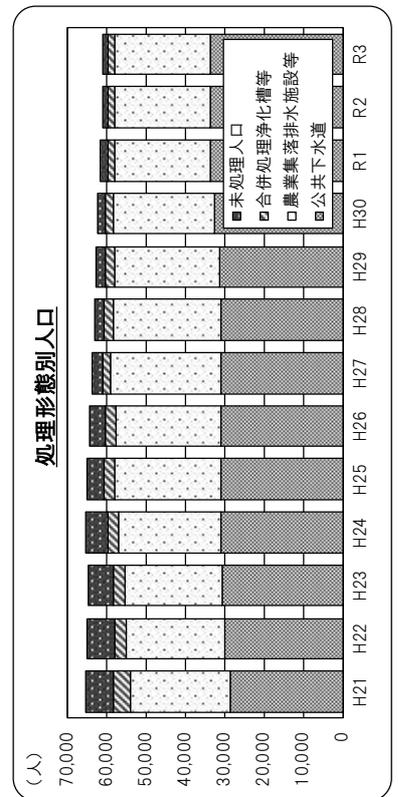
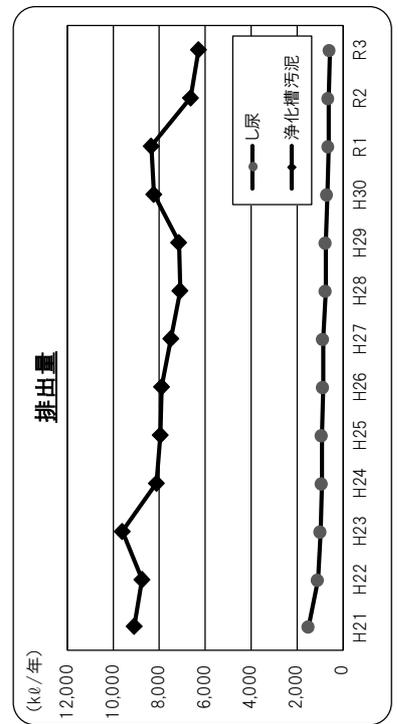
※ 処理形態別人口は、年度未人口を示す。



田原市における生活排水の現状と目標

指標・単位\年度	過去の状況・現状											実績			目標		
	単位	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
公共下水道	(人)	28,716	29,968	30,503	30,877	31,000	30,940	30,929	30,810	31,189	32,666	33,485	33,500	33,600			
	(%)	(43.9%)	(46.1%)	(47.1%)	(47.2%)	(47.7%)	(48.1%)	(48.4%)	(48.8%)	(49.6%)	(52.5%)	(54.4%)	(54.9%)	(55.0%)			
集落排水施設等	(人)	25,285	24,976	24,673	26,014	27,162	26,860	28,174	27,659	26,968	25,608	24,574	24,500	24,420			
	(%)	(38.7%)	(38.5%)	(38.1%)	(39.8%)	(41.8%)	(41.7%)	(44.1%)	(43.8%)	(42.9%)	(41.2%)	(39.9%)	(40.1%)	(40.0%)			
合併処理浄化槽等	(人)	4,275	3,114	3,068	2,918	2,522	2,480	2,059	2,309	2,352	2,160	1,756	1,600	1,600			
	(%)	(6.5%)	(4.8%)	(4.7%)	(4.5%)	(3.9%)	(3.9%)	(3.2%)	(3.7%)	(3.7%)	(3.5%)	(2.9%)	(2.6%)	(2.6%)			
単独処理浄化槽	(人)	6,375	6,214	5,868	5,088	3,931	3,741	2,325	2,021	2,016	1,527	1,426	1,250	1,200			
	(%)	(9.8%)	(9.6%)	(9.1%)	(7.8%)	(6.0%)	(5.8%)	(3.6%)	(3.2%)	(3.2%)	(2.4%)	(2.3%)	(2.0%)	(2.0%)			
汲み取り	(人)	721	675	627	536	402	361	366	375	316	230	323	227	230			
	(%)	(1.1%)	(1.0%)	(1.0%)	(0.8%)	(0.6%)	(0.6%)	(0.6%)	(0.6%)	(0.5%)	(0.4%)	(0.5%)	(0.4%)	(0.4%)			
未処理人口	(人)	7,096	6,889	6,495	5,624	4,333	4,102	2,691	2,396	2,332	1,757	1,749	1,477	1,430			
	(%)	(10.9%)	(10.6%)	(10.0%)	(8.6%)	(6.7%)	(6.4%)	(4.2%)	(3.8%)	(3.7%)	(2.8%)	(2.8%)	(2.4%)	(2.3%)			
総人口	(人)	65,732	64,947	64,739	65,433	65,017	64,382	63,863	63,174	62,841	62,191	61,564	61,077	61,050			
	(k \emptyset)	1,454	1,073	971	868	900	838	815	737	722	648	630	580	551			
浄化槽汚泥	(k \emptyset)	9,108	8,751	9,573	8,119	7,932	7,874	7,473	7,092	7,138	8,237	8,355	6,600	6,270			
	(k \emptyset)	10,562	9,824	10,544	8,987	8,832	8,712	8,288	7,829	7,860	8,885	8,985	7,180	6,821			

※ 処理形態別人口は、年度末人口を示す。



別添資料 4	分別区分説明資料
--------	-----------------

(豊橋市 ～平成 28 年度)

分別区分	種類	
もやすごみ	生ごみ、木くず、資源にならない紙くず類、皮革製品類等	
うめるごみ	陶磁器類、再生できないガラス類、レンガ、ブロック類等	
こわすごみ	電気・ガス・石油器具類、金属類、その他日用品類等	
プラスチック(資源)	包装ビニール、食品容器、洗剤容器、ラップ類等	
大きなごみ	電子レンジ、布団、自転車、家具類、家電 4 品目等	
危険ごみ	スプレー缶、ガスライター、針、かみそり、蛍光管、有水銀の乾電池・体温計等	
資 源	ペットボトル	飲料用・しょうゆ用・酒類用・調味料用のペットボトル等
	びん・カン	びん、カン
	古紙	新聞・チラシ、雑誌・雑がみ、ダンボール、牛乳パック等
	布類	天然繊維類、化学繊維類

(豊橋市 平成 29 年度～)

分別区分	種類
もやすごみ	資源にならない紙くず(ティッシュ、おむつ、汚れた紙類など)、汚れたプラスチック容器包装類、汚れた布類、革製品、30 cm以内の日用品類(金属製品以外)、木の板、木の枝 等
生ごみ	野菜、総菜、果物、穀類、調理くず、食べ残し、菓子類、肉類、魚介類等
びん・カン	びん: 飲料・食品用のガラス製のびん、化粧品のびん カン: 飲料・食品用のアルミ缶、スチール缶
プラマークごみ	ボトル類、トレイ・パック類、袋類、カップ類、ペットボトルのキャップ・ラベルなどの内、汚れていないものまたは、水ですすいで汚れが取り除けるもの
ペットボトル	飲料用、調味料用のペットボトル
危険ごみ	蛍光管、有水銀類、スプレー缶、針類、刃物類 等
こわすごみ	60 cm未満の小型家電類、その他 120 cm未満の日用品類
布類	衣類、ハンカチ、タオル、カーテン、シーツ等の内、汚れていないもの
うめるごみ	割れたびん、陶磁器類、ガラス製品、ブロック、レンガ類 等
古紙	新聞・チラシ、ダンボール、雑誌、牛乳パック等、雑がみ
大きなごみ	指定品目(電子レンジ、カーペット、布団、ベッド、自転車 等) 指定品目以外(1 辺が 60 cm以上の電気・ガス・石油器具類、高さ 90 cm以上または幅 120 cm以上の家具類、1 辺が 120 cmを超えるその他のもの)
持込剪定枝	枝木等

* 家電 4 品目は市でも戸別有料収集している(収集料金のほかにリサイクル料金が必要)

* 上記分別区分のほか、平成 21 年度より廃食用油の試験回収を行っている

(田原市 ～平成 30 年 1 月)

分別区分		種類
もやせるごみ		生ごみ、紙くず等
もやせないごみ		カセットテープ、電球等
割れガラス陶器類		割れガラス、陶器等
資源 ごみ	有害ごみ	乾電池、蛍光灯等
	紙類	新聞、雑誌、ダンボール、牛乳パック等
	布類	衣類、タオル等
	空缶	飲食物・油等の空缶(アルミ缶、スチール缶)
	小物金属	フライパン、やかん等(鉄類、非鉄類)
	ガラスびん類	飲食・調理用ガラスびん(透明、茶色、その他びん)
	ペットボトル	飲料用・酒類用・しょうゆ用・食酢及び調味酢用、みりん風調味料用等のペットボトル
	プラスチック容器類	プラスチック製の容器、パック、カップ等
	白色トレイ	白色トレイ

(田原市 平成 30 年 2 月～)

分別区分		種類
もやせるごみ		生ごみ、資源にならない紙くず類、皮革製品など金属以外のもの(長辺が 30cm 以下のもの)
こわすごみ		プラスチック製品、カセットテープ、長靴など(長辺が 30 cm を超え 45ℓ の有料化指定ごみ袋に収まるもの)
埋めるごみ		割れガラス、陶器、ライターなど
資源 ごみ	紙類	新聞、雑誌(チラシ、紙箱、封筒、ハガキなどの雑がみを含む。)、ダンボール、紙パックなど
	布類	衣類(綿入りのものを除く。)、タオルなど
	空缶	飲食物・油等の空き缶(アルミ缶及びスチール缶)
	小物金属	フライパン、やかんなど
	電化製品類	廃家電、時計、電池式おもちゃなど
	発泡スチロール	発泡スチロール
	有害ごみ	乾電池、蛍光灯、電球など
	ガラスびん	飲食、調理用ガラスびん(透明、茶色、その他色びん)
	ペットボトル	飲料用、酒類用、しょうゆ用、食酢・調味酢用、みりん風調味料用など
	プラスチック容器類	プラスチック製の容器及び包装袋、パック、カップなど
白色トレイ	トレイ	

* 粗大ごみ、剪定枝は直接搬入にて受け付けている

* 上記分別区分のほか、平成 23 年 7 月から廃食用油の拠点回収及び平成 26 年 12 月から個人情報保護対策に配慮が必要な使用済み小型家電のボックス回収を行っている

(豊橋市)

1/2

焼却処理施設	施設名	①豊橋市資源化センター(焼却処理施設)	
	処理する廃棄物	もやすごみ、可燃残渣	
	処理方式	全連続キルン式ガス化熔融炉	全連続ストカ式焼却炉
	処理能力	400t/日(200t/日×2炉)	150t/日(150t/日×1炉)
	所在地	愛知県豊橋市豊栄町字西 530 番地	
	竣工年月	平成 14 年 3 月	平成 3 年 2 月
	稼働開始年月	平成 14 年 4 月	平成 3 年 3 月
	補助の有無	有	有
資源化施設	施設名	①豊橋市資源化センター(再利用施設)	
	処理する廃棄物	大きなごみ、こわすごみ	
	処理方式	破碎(回転破碎、切断式破碎、切断、一軸破碎)	
	処理能力	70t/日(5h)	
	所在地	愛知県豊橋市豊栄町字西 530 番地	
	竣工年月	平成 14 年 3 月	
	稼働開始年月	平成 14 年 4 月	
	補助の有無	有	
	施設名	①豊橋市資源化センター(剪定枝リサイクル施設)	
	処理する廃棄物	剪定枝	
	処理方式	チップ化	
	処理能力	10t/日(5h)	
	所在地	愛知県豊橋市豊栄町字西 530 番地	
	竣工年月	平成 24 年 3 月	
稼働開始年月	平成 24 年 4 月		
補助の有無	有		
施設名	②豊橋市資源リサイクルセンター		
処理する廃棄物	びん・カン	ペットボトル	
処理方式	選別	圧縮減容	
処理能力	45t/日(6h)	4.2t/日(6h)	
所在地	豊橋市東七根町字宝地道 31 番地ほか		
竣工年月	平成 2 年 3 月	平成 10 年 6 月	
稼働開始年月	平成 2 年 4 月	平成 10 年 7 月	
補助の有無	無		
施設名	③豊橋市プラスチックリサイクルセンター		
処理する廃棄物	プラスチック(資源)、ペットボトル		
処理方式	選別、圧縮梱包		
処理能力	29t/日(5h)		
所在地	豊橋市東七根町字宝地道 40 番地 1		
竣工年月	平成 17 年 3 月		
稼働開始年月	平成 17 年 4 月		
補助の有無	有		
し尿処理施設	施設名	①豊橋市資源化センター(し尿処理施設)	
	処理する廃棄物	し尿、浄化槽汚泥、その他	
	処理方式	標準脱窒素処理方式	
	処理能力	243kl/日(し尿 148 kl/日:浄化槽汚泥 40 kl/日:その他 55 kl/日)	
	所在地	愛知県豊橋市豊栄町字西 530 番地	
	竣工年月	昭和 55 年 10 月	
	稼働開始年月	昭和 55 年 11 月	
補助の有無	有		

別添資料 5	現有処理施設の概要
--------	------------------

(豊橋市)

2/2

最終処分場	施設名	④豊橋市廃棄物最終処分場	
	処理する廃棄物	焼却残渣、うめるごみ等	
	埋立工法	セル、準好気性	
	埋立容量	1,588,000 m ³	262,000 m ³
	所在地	豊橋市高塚町字東大縄手 441 番地ほか	
	竣工年月	平成 4 年 10 月	平成 23 年 3 月
	稼働開始年月	平成 4 年 11 月	平成 23 年 4 月
	補助の有無	無	有
分別収集 回収拠点	施設名	①豊橋市南部環境センター	
	所在地	愛知県豊橋市東七根町字宝地道 24 番地	
	敷地面積	5,412m ²	
	竣工年月	昭和 62 年 3 月	
	稼働開始年月	昭和 62 年 4 月	
	補助の有無	無	
	施設名	①豊橋市南部環境センター(ストックヤード)	
	所在地	愛知県豊橋市東七根町字宝地道 24 番地	
	処理能力	300m ²	
	竣工年月	平成 29 年 3 月	
	稼働開始年月	平成 29 年 4 月	
	補助の有無	有	
有機性廃棄物 リサイクル 推進施設	施設名	③豊橋市バイオマス利活用センター	
	処理する廃棄物	生ごみ、下水汚泥、し尿、浄化槽汚泥	
	処理方式	メタン発酵 湿式中温発酵方式	
	処理能力	生ごみ 6t/時、下水汚泥 30m ³ /時、 し尿・浄化槽汚泥 9m ³ /時、炭化 6t/日	
	所在地	愛知県豊橋市神野新田町字中島 75 番地 2	
	竣工年月	平成 29 年 9 月	
	稼働開始年月	平成 29 年 10 月	
	補助の有無	有(国土交通省)	
	施設の概要	PFI 事業(株豊橋バイオウィルが運営)	

※ 施設名に示す①～③は、[別添資料 1]に示す番号と一致している。

別添資料 5	現有処理施設の概要
--------	------------------

(田原市)

1/2

焼却処理施設	施設名	⑤田原リサイクルセンター炭生館	
	処理する廃棄物	もやせるごみ、可燃性粗大ごみ	
	処理方式	流動床式炭化炉方式	
	処理能力	60t/日(30t/日×2系)	
	所在地	田原市緑が浜二号 2 番地 91	
	竣工年月	平成 17 年 3 月	
	稼働開始年月	平成 17 年 4 月	
	補助の有無	有	
施設の概要	PFI 事業(令和 2 年3月までグリーンサイトジャパン(株)が運営)		
資源化施設	施設名	⑥田原市東部資源化センター	
	処理する廃棄物	資源ごみ、粗大ごみ	
	処理方式	破碎、圧縮	保管
	処理能力	15t/5h	162 m ²
	所在地	田原市相川町嶋森 87 番地	
	竣工年月	平成 6 年 3 月	
	稼働開始年月	平成 6 年 4 月	
	補助の有無	有	
	施設名	⑦田原市赤羽根環境センター	
	処理する廃棄物	資源ごみ、粗大ごみ	
	処理方式	保管	
	処理能力	156m ²	
	所在地	田原市赤羽根町西山 1 番地 68	
	竣工年月	平成 6 年 10 月	
	稼働開始年月	平成 6 年 10 月	
	補助の有無	有	
	施設名	⑧田原市渥美資源化センター	
	処理する廃棄物	資源ごみ、粗大ごみ	
処理方式	保管		
処理能力	346 m ²		
所在地	田原市福江町清荒子 1 番地		
竣工年月	平成 19 年 3 月		
稼働開始年月	平成 19 年 4 月		
補助の有無	有		

※ 施設名に示す①～⑧は、[別添資料 1]に示す番号と一致している。

(田原市)

2/2

し尿処理施設	施設名	⑩田原市衛生センター	
	処理する廃棄物	し尿、浄化槽汚泥	
	処理方式	嫌気性消化、好気性消化、活性汚泥処理方式	
	処理能力	100kl/日(し尿 80kl/日:浄化槽汚泥 20kl/日)	
	所在地	田原市高松町尾村崎 549 番地	
	竣工年月	昭和 41 年 3 月	
	稼働開始年月	昭和 41 年 4 月	
	補助の有無	有	
最終処分場	施設名	⑥田原市第二東部最終処分場	
	処理する廃棄物	焼却残渣、不燃残渣	
	埋立工法	サンドイッチ	
	埋立容量	40,600 m ³	
	所在地	田原市相川町嶋森 87-14	
	竣工年月	平成 19 年 3 月	
	稼働開始年月	平成 19 年 4 月	
		補助の有無	有
	施設名	⑦田原市赤羽根環境センター最終処分場	
	処理する廃棄物	焼却残渣、不燃残渣	
	埋立工法	サンドイッチ、準好気性	
	埋立容量	12,200 m ³	
	所在地	田原市赤羽根町西山 1 番地 68	
	竣工年月	平成 6 年 10 月	
稼働開始年月	平成 6 年 10 月		
	補助の有無	有	
施設名	⑨田原市渥美最終処分場		
処理する廃棄物	不燃残渣		
埋立工法	サンドイッチ、セル		
埋立容量	150,500 m ³		
所在地	田原市和地町南大阪 2 番地		
竣工年月	平成 7 年 3 月		
稼働開始年月	平成 7 年 7 月		
	補助の有無	有	

※ 施設名に示す①～⑬は、〔別添資料 1〕に示す番号と一致している。

(豊橋市)

